



# IGFA アングリング・ルール

IGFA ANGLING RULES

このルールは、良識ある健全な釣りの普及を目指し、世界における釣魚の記録保存を可能とする統一基準となり、トーナメントや釣りの各種大会で採用できる基本的なガイドラインを提供するために、インターナショナル・ゲームフィッシュ協会（IGFA）によって定められたものである。

「釣り」とは、ロッド、リール、ライン、フックのすべてを用いて魚を捕獲すること、あるいはそれを目的とした行為と定義される。ただし規則ではコントロールできない釣りの侧面というものはたしかに存在する。どのようなルールを定めようと、フックにかかった魚がすばらしいファイトをするかどうかは分からず、世界記録が樹立されたからといって、その釣りが難しかったかどうかは判断できない。魚がファイトしなかったキャッチ、魚がファイトする機会を与えたなかったキャッチは、アングラーの名誉とはならない。それが偉業であったかどうかは、当事者たるアングラー本人のみが正しく評価できるものであろう。

IGFAの認定する世界記録の対象となりうるのは、IGFAルールに従って捕獲された魚のみである。以下は、海と淡水の釣り、オールタックル・レンゲスおよびフライフィッシングに関するIGFAルールである。

☆当ルールブック発行後に追加・訂正された事項については、JGFA NEWS の最新号あるいは JGFA ホームページの記述を参照のこと。

## 海と淡水のフィッシング・ルール

(オールタックル・レンゲスおよびフライフィッシング・ルールも参照)

### ● 釣具の規定

#### A. ラインおよびバッキング

1. 使用するフィッシングラインは、モノフィラメント、マルチフィラメント(編み糸)、または、レッドコア・マルチフィラメントのいずれかに限る。ラインクラスについては、「世界記録の必要事項」を参照のこと。
2. ワイヤーラインの使用は禁止される。
3. バッキングの使用は許可される。
4. 使用するラインのクラスは、ダブルライン、リーダーないしフックに接続された先端部分5メートルの破断強度で決定される。このセクションは同一素材のシングルラインであること。

#### B. ダブルライン

ダブルラインの使用は必須ではないが、使用する場合は以下のとおりとする。

1. ダブルラインは、フィッシングラインそのものをダブルにしたものでなければならない。
2. ダブルラインの長さは、ダブルを作っている部分(ノット、編み込み、ロールまたはスプライスなど)の端から、リーダー、ルアー、またはフックなどを取り付けるために使われるノット、スプライス、スナップスパイク等の用具のいちばん端までと定義する。

#### 【海水魚】

ダブルラインの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m (15フィート) 以内とし、ダブルラインとリーダーの合計長は6.1m (20フィート) 以内であること。10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスでは、ダブルラインの長さを9.14m (30フィート) 以内とし、ダブルラインとリーダーの合計長は12.19m (40フィート) 以内とする。

#### 【淡水魚】

すべてのラインクラスにおいてリーダーは1.82m (6フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m (10フィート) 以内であること。(ただしこの規定はサーフ・キャ

#### C. リーダー

リーダーの使用は必須ではないが、使用する場合には以下のとおりとする。

リーダーの長さとは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さであり、末端に位置するフックのペンドから測定する。リーダーはスナップ、ノット、スプライス、スパイクまたは他の用具でラインに接続されていること。リーダーを握るための用具類を装着してはならない。リーダーの材質および強度については制限しない。

#### 【海水魚】

リーダーの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m (15フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は6.1m (20フィート) 以内でなければならない。10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスは、リーダーの長さを9.14m (30フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は12.19m (40フィート) 以内であること。

#### 【淡水魚】

すべてのラインクラスにおいてリーダーは1.82m (6フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m (10フィート) 以内であること。

#### D. ロッド

1. ロッドは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。ロッドの選択においては相当の自由度が許容されているが、釣り人に不当な利益を与えるようなものは失格となる。この規定は、慣習に従わないロッドの使用を排除するためのものである。

2. ロッドティップの長さは101.6cm (40インチ) 以上、ロッドバットの長さは68.58cm (27インチ) 以内であること。これらの長さは、ロッドに装着したリールの中心点の真下からの直線距離を測るものとする。カーブドバットは、直線距離で末端までの距離を測る。ロッドバットをジンバルに装着したとき、リールシートの中心からジンバルのビボットポイントまでの距離は68.58cm (27インチ) 以内であること。(ただしこの規定はサーフ・キャ

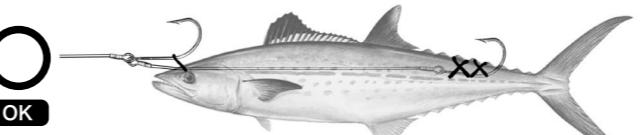
スティング・ロッドには適用しない。)

#### E. リール

1. リールは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。
2. 動力を利用するリールは、以下の状況下および仕様に限り許可される。
  - a) 取り外すことができるパワーアクセサリー(たとえば電動ドリル、モーター、ないしリール専用に製造されたアクセサリー)を装着したリールは、釣りのために水中に設置したエサやルアーをボートに回収するためだけに使用できる。
  - b) パワーアクセサリーは、エサやルアーをボートまで完全に回収するためだけに使用し、水中におけるエサやルアーの位置を調整するために使つてはならない。リールにパワーアクセサリーを装着した時点で、以降に掛かった魚はすべてルール違反とみなされるので、ただちにエサやルアーは回収を開始して、船べりまで完全に上げなければならない。再び釣りを開始するためには、パワーアクセサリーを取り外し、手巻き操作によってエサやルアーを再投入する。パワーアクセサリーが装着された状態のままで再投入を行うことは禁止される。
  - c) 魚のフッキング／ファイティングが起こる前に、パワーアクセサリーは取り外しておかなければならない。リールにパワーアクセサリーが装着された状況下でベイトやルアーにストライクした魚は、そのアクセサリーが実際に使用されていたかどうかに関わらず、記録申請の対象とはならない。
  - d) 取り外すことができる電気関連パーツを備えておらず、完全な手巻きが実現できない電動リールは、使用が禁止される。

#### F. ベイトフィッシング(エサ釣り)に使用するフック

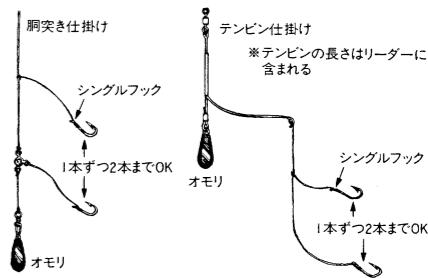
1. 生き餌、または死んだ餌で釣る時は、シングルフック(1本バリ)を2本まで使用することができる。この場合、両方のフックは餌の中に埋め込むか、餌にしっかりと固定しなければならない。2つのフックのアイの間隔は、フックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上なければならない。例外として、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すことは認められる。
2. フックの後ろに餌あるいは餌とルアーの組み合わせを装着する場合、その先端とフックのペンド後端との間隔はフックの長さぶんを超えてはならない。



2. ダングリングフック\*およびスインギングフック\*の類を使用してはならない。ダブルやトレブルフック(3本イカリバリ)の使用も禁止される。
3. ボトムフィッシングの場合は、シングルフックを2本まで使用することができる。ただし、2つのフックは、別々のリーダーまたはドロップ\*で取り付けなければならない。2つのフックは、それぞれの餌に埋め込み、一方のフックにかかった魚が他方のフックに

かられないよう、充分に離しておくこと。

4. フックを2本使用して釣った魚を記録申請する時は、仕掛けのフック配列が分かる写真、またはスケッチを添付すること。



#### G. フックおよびルアー

1. スカートまたはトレーリング材\*を取り付けたルアーには、シングルフックを2本まで、ラインないしリーダーに取り付けて使用することができる。フックは別々に取り付ける必要はない。この場合、2本のフックのアイの間隔は、フックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上なければならないが、30.48cm (12インチ) 以上離してはならない。例外として、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すのはかまわない。トレーリングフック(後方のフック)は、ルアーのスカートから全長がはみ出している。フックの後ろにルアー、あるいは餌とルアーの組み合わせを装着する場合、その先端とフックのペンド後端との間隔はフックの長さぶんを超えてはならない。
2. 記録申請時には、フックの配列が分かる写真、またはスケッチが必要である。
2. ギヤングフックは、専用に設計されたプラグまたはルアーに取り付けるときにだけ使用が許される。ルアーに取り付けたギヤングフックは、自由に振れ動かなければならない。使用するギヤングフックは、3本までに限られる(シングル、ダブル、トレブルのいずれか、または組み合わせ)。魚が掛かったときに自由に振れ動くなら、ギヤングフックはルアーに埋め込んだり本体に固定したりすることができる。ギヤングフックに餌を取り付けることはできない。記録申請時にはルアーの写真もしくはスケッチを添付すること。もしそれが充分でない時はルアーそのものの提出が求めされることもある。
3. モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続される、いわゆるアシストフックの類のシングルフックに関しては、以下の規定を遵守すること:スカートなしのルアーにアシストフックを使用する場合、リードの長さは使用するフック長の1.5倍を超えてはならない。またフックのペンド位置は、ルアーと接続される最近点から4インチ (101mm) を超えてはならない。アシストフックとして、ダブルフックやトレブルフックを使うことはできない。また、アシストフックはシングルフックとし、2本のシングルフックをタンデムにして使うことはできない。プラグの場合と同様、1つのルアーに対して最大3本のアシストフックを使うことができる。
4. フックのついたルアーは、1度に1つしか使用できない。

#### H. その他の用具

1. ファイティングチェアには、魚とのファイトを有利に導く機械的推進装置を取り付けてはならない。

- ジンバルは、垂直面のみに動くものを含め、自由にスイングすること。魚とファイトしている時、釣り人の負担を軽減したり、休息を可能とするジンバルは禁じられている。
- 魚を取り込む時に使用するギャフおよびネットは、全長が2.44m(8フィート)以内であること。フライングギャフ、脱着式ギャフを使用する場合、ギャフロープは9.14m(30フィート)以内であること。ロープは、ヘッドに取り付けられた点から末端までを測るものとする。計測するのは有効長のみで、結び目の余りは長さに含まない。ヘッドの固定されたギャフを使用する場合も同じ制限が適用され、ギャフロープはギャフフックの同じ位置から測る。ギャフは、シングルフックだけが使用できる。モリまたはヤスを使用してはいけない。テイルロープは9.14m(30フィート)までとする(例外として橋、桟橋、その他の高い台や構造物から釣る場合、ギャフないしネットの全長やテイルロープの長さに関する上記制限は適用されない)。
- エンタングリング(魚を絡め取る)用具は、フックの有無にかかわらず禁じられている。ペイティングまたはフッキング、ファイティング、ランディングを含むいかなる目的のためにも使用してはいけない。
- アウトリガー、ダウンリガー、スプレッダーバーおよびカイトの使用は許可されるが、条件として、それらに装着されたスナップなどのリリース器具に、フィッシングラインが直接的あるいはゴムバンドなどを介して間接的に固定されてはいけない。直接あるいは間接を問わず、リリース器具にリーダーまたはダブルラインを固定することは禁じられる。スプレッダーバーはティーザーとしての使用も許される。
- デジーチーン、バード、フロート(ウキ)もしくはそれに類した用具は使用可であるが、魚が通常備える遊泳力やファイトする能力を妨げるもの、アングラーやクルーによる魚とのファイトや取り込みに有利となるものなどは、いかなる場合も使用が許されない。
- セーフティーライン[落下防止のための尻手(シッテ)ロープ]は、魚とのファイトにおいて釣り人に有利に作用しないものに限り、ロッド、リールあるいはハーネスに取り付けてよい。

## ● 釣りの規定

- 魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、釣り人は他からの助けを借りることなく魚をフックにかけ、ファイトし、取り込まれなければならない。ただし、本ルール内の規定で認められたものは除く。
  - ロッドをホルダーで固定している時に、魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、釣り人はできるだけ速やかにロッドをホルダーから外さなければならない。この規定の意図は、釣り人がロッドを持って自らストライクし、そしてフックをかけることにある。
  - 一人の釣り人が何本かのラインを出していて、同時に多数の魚がかかった時は、最初にファイトした魚だけが記録申請の対象となる。
  - ダブルラインを使用するのは自由であるが、ファイトの大部分はシングルラインで行うことが前提である。ダブルラインやリーダーだけでファイトの大部分を行ってはならない。
  - ロッドベルトやウエストジンバルの使用は認められる。
  - ボートから釣る時は、リーダーが同乗者の手に掴めるところにくるか、リーダーの端がロッドティップまで巻き上げられた時、1人
- または複数の人がリーダーを持つことができる。岸釣りまたはウェーディングの釣りをしているアングラーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットで掬う、あるいはギャフを掛ける際、アングラーからロッド1本ぶん以内の距離にいなければならぬ。
- リーダーを持っている人の他に、1人またはそれ以上の人気がギャフを使用してもよい。魚にギャフをかける時、ギャフのハンドルは手を持っていなければならぬ。
  - 釣具と釣りに関する規定は、魚の検量が終わるまで適用される。

## ● 失格となる行為

- 前述の、釣具または釣りの規定に違反する行為。
- 魚がヒットしてからファイト中、そして取り込みなしリリースが完了するまで、釣り人でない人が、ロッド、リール、およびライン(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触ることはできない。本ルールで認められたこと以外の手助けは、すべて禁止である。ラインがロッドガイドを通る時に障害となるもの(寄せ餌、浮子を取り付けるためのライン、ゴムバンドなど)を取りのぞく際にも、ラインに手や体の一部が触れてはならない。アングラー以外がラインに触ることは、いかなる場合も禁止される。
- 魚とのファイト中にロッドホルダーを使う、船べりやその他の物体にロッドをもたせ掛けたりする等の行為は禁止される。
- ラインを手縛って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている。いかなる方法であっても、魚を保持したり引き上げておくために、リーダーまたはラインにハンドラインやロープを取り付けてはならない。
- サメやオヒョウを含め、いかなる魚の取り込みにおいても、銃で撃ったり、モリやヤスで突いてはならない。
- トローリングまたはキャスティング用のルアーに使われるヘアーマまたはポークリンドの他は、ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分をチャム(寄せ餌)またはベイトとして使用してはならない。
- 魚が正常に泳ぐ能力を奪うために、ボートや道具を使用して魚を浜に追い上げたり、浅瀬に追い込んだりしてはならない。
- 魚がかかるつアイトしている時に、ロッドまたはリールを交換してはならない。
- 魚がかかるつアイトしている時に、ラインをつないだり、取り除いたり、足したりしてはならない。
- 故意にファウルフッキング\*をしてはならない。
- ダブルライン全体がまったくロッドティップから出ない方法で魚を釣ってはならない。
- 法律・規則で禁止されている種類や大きさのベイトを使用してはならない。
- 魚を保持したり引き上げるため、釣り人のラインまたはリーダーをボートまたは他の物体に取り付けてはならない。
- 取り込み直前に逃げた魚を、当ルールに定められた以外の方法で再捕獲してはならない。
- 魚とのファイトを助ける、あるいはかかった力を逃がすようなやり方でアングラーを支えたり、触ったりしてはならない。ただし、転倒を避けるために短時間だけ触る、支えるなどの行為は許される。

## ● 失格となる状況

- ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるよ

うな方法で折れた時。

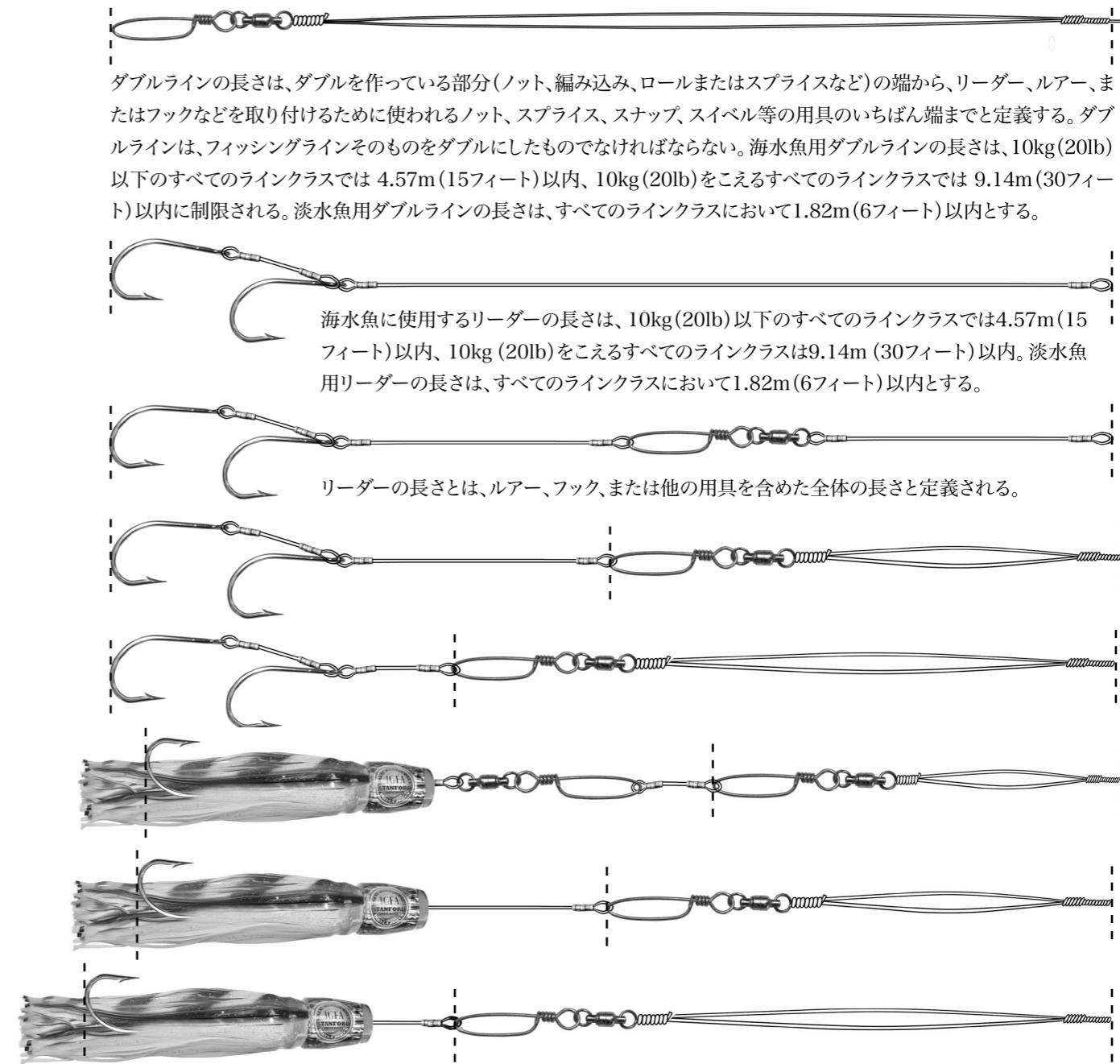
- 取り込みの前にサメなどの魚またはホ乳動物などにかまれた、プロペラに当たったなどの理由で、魚の肉が削げたり、体に傷がついた場合(リーダーまたはラインによる傷、引っかき傷、古い回復した傷跡、再生による体型の変形などは失格する傷とはみなされない)。魚のすべての損傷は、写真にはっきり示し、充分な説明を記入した報告書を記録申請に添付しなければならない。
- 一尾の魚が複数のラインにかかった、あるいは絡んだ時。
- その魚を釣る行為が、魚種もしくは釣り場に適用される法律や規則に違反している時。

## \*印を付けた用語について

ダングリングフック、スインギングフック	セカンドリーダーに付けられる、スレで魚を引っかける目的で使用するフック
ドロップ	ラインにハリスを付ける際に作る枝輪
トレーリング材	ルアー・ヘッドに取り付けるスカート等と同じ
ギャングフック	3つ以上のポイントを備えたイカリ針のこと
ファウルフッキング	魚の口以外の部分にハリを引っかけること



## ダブルラインとリーダー図解





## フック配列の実例 (餌もしくはルアーを使用する場合)



○ OK  
2本のフックの間隔が、餌を使用する場合は45.72cm (18インチ)以内、ルアーを使用する場合は30.48cm (12インチ)以内であること。それ以上離れているなら失格。



✗ NG  
セカンドフック (トレーリングフック) が完全にスカートから出ているので失格。



✗ NG  
餌、ルアーにかかわらず、2本のフック・アイは、互いにフックの長さ (使用されているフックの大きい方の全長) 以上離れていないければいけない。

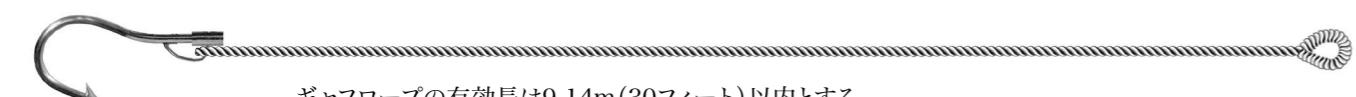


○ OK  
2本のフック・アイは、互いにフックの長さ (使用されているフックの大きい方の全長) 以上離れていて、かつ餌釣りの場合は45.72cm(18インチ)以内、ルアーの場合は30.48cm(12インチ)以内に収まっている。



○ OK  
餌釣りおよびルアー釣りを問わず、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すことは認められる。

## ギャフ



ギャフロープの有効長は9.14m(30フィート)以内とする。



ギャフの全長は 2.44m(8フィート)以内。



## フック配列の実例 (アシストフックに関するガイド)

アシストフックとは、モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続されるフックのこと。バーチカルジグの普及とともに広く使われるようになり、伝統的なトレブルフックの代替としても人気が高まっている。

近年まで、IGFAはルアーに使用するアシストフックに関する規定を持たなかったが、その普及を受け、以下を新たに定めることとした。モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続される、いわゆるアシストフックの類のシングルフックに関しては、以下の規定を遵守すること: スカートなしのルアーにアシストフックを使用する場合、リード



○ OK  
リードの長さはフック長の1.5倍以内 (フックのアイからルアーに装着される最近点までを測定)。



○ NG  
アシストフックは、複数が使用可能。リードをつけたダブルやトレブルフックをアシストフックとして使用することは禁止。



○ OK  
アシストフックは、ルアーのどちら側につけても可。



○ OK  
アシストフックは、スカートつきのルアー以外、どのようなルアーにも装着できる。



✗ NG  
リード長がフック長の1.5倍を超えている (フックのアイからルアーに装着される最近点までを測定)。



✗ NG  
フックのベンドと、リードがルアーに装着される最近点の間の長さが 101mm (4インチ) を超えている。

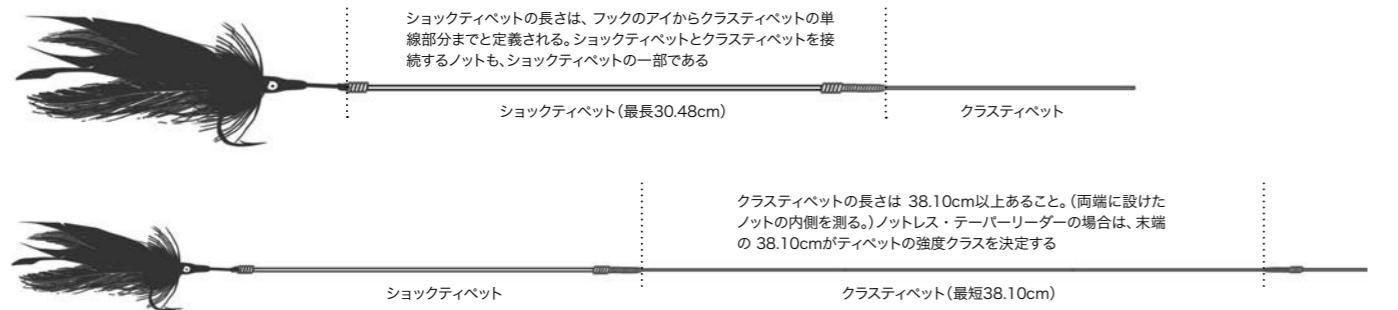
## フライフィッシング・ルール

### ● 釣具の規定

#### A. ライン

フライラインおよびバッキングは、素材と強度について制限しない。

#### B. リーダー



リーダーは、フライフィッシングの慣習として一般的に使用されているものとする。リーダーにはクラスティペットおよびショックティペット(後者の使用は任意)が含まれる。フライラインとクラスティペットとの間のバットおよびテーパー部分は、リーダーの一部とみなされ、その長さ、材質および強度に関する制限はない。クラスティペットは非金属性の材質とし、フライまたはショックティペットに直接取り付けなければならない。クラスティペットの長さは38.10cm(15インチ)以上とする(両端に設けたノットの内側を測定)。ノットレス・テーパーリーダーの場合は、末端の38.10cm(15インチ)がティペットのクラスを決定する。クラスティペットに長さの上限はない。クラスティペットの先にショックティペットを付け加えて、フライを結んでもよい。ショックティペットの材質および強度については制限しないが、30.48cm(12インチ)以内とする。ショックティペットの長さは、フックのアイからクラスティペットのシングル部分までを測る(クラスティペットに接続するためのノット部分もショックティペットとみなされる)。タンデムフックを使用するフライの場合、ショックティペットの長さは先頭のフックのアイから測る。

#### C. ロッド

素材と繊数は自由であるが、ロッドはフライフィッシングの一般的な慣習と良識に従って作られたものであること。ロッドの全長は1.82m(6フィート)以上とする。アングラーに不当な利益を与えるようなロッドは失格となる。エクステンション・バットの長さは、リールフットの中央から測定して15.24cm(6インチ)以内。ただし全長3.33m(11フィート)を越えるスペイロッド、ダブルハンドルフライロッドの場合、エクステンション・バットの長さは25.4cm(10インチ)以内とする。

#### D. リール

リールは、フライフィッシング用として専用設計されたものであること。ギヤ比およびドラッグ機構について制限はないが、釣り人が不当な利益を受けると考えられるものは使用できない。電動リール、電子機器を用いたリールは禁止される。

#### E. フック

フライには、シングルまたはダブルフック、もしくは直列(タンデム)にした2本のシングルフックを使うことができる。タンデム・フライの第2フックは、ウイング材からはみ出でてはならない。2つのアイの間隔は最大15.24cm(6インチ)。トレブルフックは使用できない。

の上から釣る時は、この長さの制限は適用されない)。フライングギヤフの使用は禁止する。ギヤフはシングルフックだけが認められ、モリまたはヤスを取り付けることはできない。ロープをはじめいかなる延長物も、ギヤフに取り付けることは禁止されている。

### ● 釣りの規定

- 釣り人は、他からの手助けを受けることなくキャストし、フックをかけ、ファイトして、魚をギヤフないしネットまで引き寄せなければならない。釣り人が魚とファイトしているとき、他の人はギヤフ掛けやネット入れの目的でリーダーを持つ行為以外の手助けをしてはならないし、釣り具のどの部分にも触れられない。岸釣りまたはウェーディングの釣りをしているアングラーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットで掬う、あるいはギヤフを掛ける際、アングラーからロッド1本ぶん以内の距離にいなければならぬ。
- キャスティングやリトリーブは、通常の慣習に則り、一般的に受け入れられた方法で行わなければならない。キャスティングの要件は、フライの重さでラインを送り出すのではなく、ラインの重さでフライを飛ばすことである。動いているボートの後方にフライを流す事は許されない。魚にフライをキャストする時、およびリトリーブの間は、ボートのギヤを完全に外し、ニュートラルか停止の位置にしておかなければならぬ。リールから事前に出しておけるラインの長さは、フライから測定して36.57m(120フィート)以内とする。
- 魚がフックにかかった時にエクステンション・バットを追加すること以外は、タックルにいかなる変更も加えてはならない。
- 魚は、使用しているフライのフックにかけなければならぬ。小さい魚がフライにかかり、それを大きい魚が呑み込んでしまった場合、大きい魚は記録として認められない。
- 魚を取り込むために、1人以上の人がギヤフ掛けやネット入れの手助けをしてもよい。
- 釣具と釣りに関する規定は、魚の検量が終わるまで適用される。

### ● 失格となる行為・状況

- これまで述べてきた、釣具または釣りの規定に違反する行為。
- 魚がヒットしてからファイト中、そして取り込みないリリースが完了するまで、釣り人でない人が、ロッド、リール、およびライン

(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触ることはできない。本ルールで認められたこと以外の手助けは、すべて禁止である。ラインがロッドガイドを通る時に障害となるもの(寄せ餌、浮子を取り付けるためのライン、ゴムバンドなど)を取りのぞく際にも、ラインに手や体の一部が触れてはならない。アングラー以外がラインに触ることは、いかなる場合も禁止される。

- 魚とのファイト中に、船べりやその他の物体にロッドをもたせ掛けたりする等の行為は禁止される。
- ラインを手縛って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている。いかなる方法であっても、魚を保持したり引き上げておくために、リーダーまたはラインにハンドラインやロープを取り付けでならない。
- 故意にファウルフッキング\*をしてはいけない。
- サメやオヒョウを含め、いかなる魚の取り込みにおいて、銃で撃ったり、モリやヤスで突いてはならない。
- ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分をチャム(寄せ餌)として使用してはならない。
- 魚が正常に泳ぐ能力を奪うために、ボートや道具を使用して魚を浜に追い上げたり、浅瀬に追い込んだりしてはならない。
- 魚を保持したり引き上げるため、釣り人のラインまたはリーダーをボートまたは他の物体に取り付けてはならない。
- 取り込み直前に逃げた魚を、当ルールに定められた以外の方で再捕獲してはならない。
- ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた時は失格となる。
- 1尾の魚が複数のラインにかかった、あるいは絡んだ時は失格となる。
- 取り込みの前にサメなどの魚またはホ乳動物などにかまれた、プロペラに当たったなどの理由で、釣り上げた魚の肉が削げたり、体に傷がついた場合(リーダーまたはラインによる傷、引っかき傷、古い回復した傷跡、再生による体型の変形などは失格する傷とはみなされない)。魚のすべての損傷は、写真にはつきり示し、充分な説明を記入した報告書を記録申請に添付しなければならない。
- 魚とのファイトを助ける、あるいはかかった力を逃がすようなやり方でアングラーを支えたり、触ったりしてはならない。ただし、転倒を避けるために短時間だけ触る、支えるなどの行為は許される。

## オールタックル・レンジス・レコードに関するルール

### ● 一般情報

レンジス・レコードに申請する魚は、すべて現場で計測を行い、リリースをして良好な状態で泳ぎ去っていくのを確認しなければならない。有効なリリースのためには、水中で魚を保持し、エラに水を通して回復を待つこと。レンジス・レコードに申請した場合、その他のカテゴリーに申請することはできない。

### ● 釣具と釣りに関する規則

淡水および海水のコンベンショナルおよびフライタックルに適用されるIGFAルールが当てはまるが、以下の例外を設ける。釣具と釣

りに関する規定は、魚の測定が終わり、リリースが完了するまで適用される。

#### A. ギヤフとネット

- 魚を取り込むためにギヤフを使用することはできない。
- ネットは、全長が2.44m(8フィート)を超えないこと(橋、桟橋、またはその他の高い構造物の上から釣る時は、この長さの制限は適用されない)。
- 魚のヌルや鱗に与える損傷を最小限に抑えるため、ラバーコーティングを施した結び目のないネットあるいは類似の製品の使用が推奨される。

## B. メジャー

1. 計測は、IGFAの販売する専用メジャーを使用する。
2. メジャーが長すぎる場合はカットしてもよいが、つなぐことはできない。

## ● 釣りの規定

以下の場合は失格となる。

1. 釣具と釣りに関するIGFAルールに違反した場合。
2. 計測中に魚が死亡した、あるいはリリース後に遊泳が確認できなかった場合。

## ● レンズ・レコード認定に関する諸規則

その他のレコード・カテゴリと同じ規則が適用されるが、以下の追加や例外を設定した。

## A. 計測に関する規則

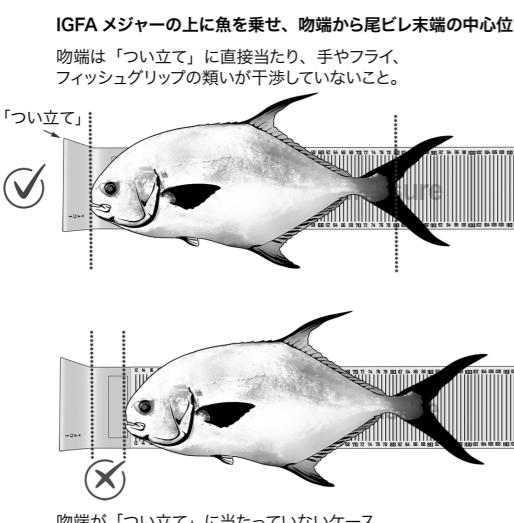
1. 計測は、平らな面にIGFAメジャーを置いて行う。
2. 魚の吻端はIGFAメジャーの起点に設けた「つい立て」に接触していること。ルアーやフィッシュグリップなどは取り外す。
3. 魚をIGFAメジャー上に置いた状態で、尾ビレの端の中心位置までを測る。
4. 計測はセンチメートル単位で行う。
5. 単位は切り捨てとする。45センチと46センチの間に来た場合、申請できる長さは45センチになる。

## B. 空白カテゴリーに申請するための最小寸法

レンズ・レコードの空白カテゴリーに申請する魚の寸法は、対象魚種リストに示されているとおり、該当種の最大記録の半分以上なければならない。

## C. 記録更新もしくはタイ記録達成のための最小寸法

1. 既存の記録を更新するためには、少なくとも2cmが必要である。
2. 既存記録とまったく同寸、および長さは上回っているものの差が2cm未満の魚は、タイ記録とみなされる。タイ記録申請に3尾以上の魚が関係してくる場合は、オリジナルの記録（最初にキャッチされた魚）と寸法を比較する。オリジナルの記録（最初にキャッチされた魚）より小さな魚は審査を行わない。釣り上



げた魚が同一人物による既存記録とタイになるためには、既存記録を最低1センチメートル上回っていること。

## D. 申請書に添付する写真は、以下の情報を含まなければならない。

1. IGFAメジャーに乗せ、口吻と尾ビレの位置がはつきりとわかる魚の全体写真。手を添えても良いが、メジャーの目盛りの読み取りを妨げるような写真は受け入れない。
2. メジャー上に乗せた魚の吻端と尾ビレの位置がはつきりとわかるクローズアップ写真。
3. 釣り人が魚を持っている写真。
4. ロッドとリールの写真。

## ● 魚のハンドリングについて

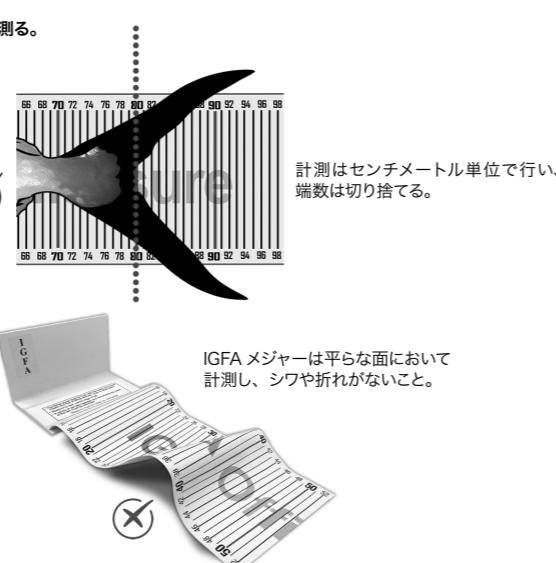
魚を水から上げ、計測を行って申請写真を撮影する際には、魚のヌルや鱗に与える損傷を最小限に抑えるため、ラバーコーティングを施した結び目のないネットなどを使用すべきである。魚の唇に掛けるフィッシュグリップの類も使用可能であるが、大型の魚は垂直に持ち上げてはならない。唇まわりの筋肉、骨組織、あるいは内臓を損傷する危険がある。手を使って魚を水から上げる場合は、片手で下唇を持ち、もう一方の手で魚を下から支えるようにする。魚は水平に持ち上げ、決して垂直にしないこと。

## ● 計測について

IGFA記録に申請するためには、魚の寸法を計測し、写真を撮影することになる。いずれも一定の時間を必要とするので、魚を取り込むまえに必要な用具類を準備しておくことが望ましい。計測や撮影にかかる時間が数分間にわたる場合は、魚をひんぱんに水に入れるか、ライブウェルを活用し、呼吸をさせてやること。

## ● リリースについて

魚のリリースにあたっては、時間と注意が必要である。まず魚を水に入れ、尾ビレの根本を握る。魚が自発的に身を捩って泳ぎ去つていかない場合は、エラに水を通すためにそつと前に動かしてやる。エラは一方向への水の流れにしか対応できないので、前後には動かさないほうが良い。ゆっくりと円を描くように動かすか、ボートを低速で走らせるのは良い方法である。



# 世界記録の必要事項

IGFAルールに従って釣った魚だけが、世界記録の対象となる。  
以下に、記録の部門、必要事項および記録申請の手続について記述する。

## 世界記録のカテゴリー

### ● 一般事項

IGFAはラインクラスおよびティペットクラス、それにオールタックルの各部門で、海と淡水のゲームフィッシュを対象として世界記録を認定管理する。世界記録として認定される魚の重量は0.453kg (1lb)以上なければならない。既存記録更新のためには、あらかじめ定められた重量差が存在することが前提となる。また新規認定のためには最低重量規則が適用される。

ふ化場、禁漁区、商業用に魚が放流された小さな水域で釣った魚は対象にならない。IGFAは、それぞれの申請に関してケース・バイ・ケースで上記の基準を適用する権利を有する。また釣りの行為は、その魚種および釣り場に適用される法律および規則に違反するものであってはならない。

IGFAの記録対象の新しい魚種が追加される場合には施行期日が発表され、施行期日以後に釣れたものが認定の対象となる。施行期日前のものについては対象とならない。『World Record Game Fishes』または他のIGFA出版物における魚種の追加発表は、公式な発表とみなされる。

同一人物が、同じ日に同じ種類の記録対象魚を複数釣った場合、もっとも重い（長い）もの、あるいは同重量の場合はもっと長いものだけが申請受理の対象となる。

### ● オールタックル部門

オールタックル記録とは、60kg(130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最高重量である。ラインクラスの最大は60kg (130lb)までとし、それ以上のラインを使用した場合は失格となる。

オールタックル部門の記録申請対象はすべての魚種とし、「海水魚」「淡水魚」「フライフィッシング」に関するIGFAルールのいずれかが適用される。

ラインクラスおよびティペットクラスの対象魚リストに含まれていない魚種の申請は、下記の基準に合ったものであること。

1. 魚は、認められた学名を代表するものであること。
2. 魚は、申請書に添付された写真やその他のデータによって確認できること。
3. 魚は、トロフィーサイズと思われる大きさであること。その種に関し、報告された最大重量の2分の1以上目安とする。最大重量データが存在しない場合は最大体長で代用し、その2分の1以上があること。最大重量および最大体長データは、フィッシュベースwww.fishbase.orgをはじめ、定評のある各種ソースを参照する。
4. 魚は、トロフィーサイズと思われる大きさであること。その種の最大重量の2分の1以上でなければならない。

### ● オールタックル・レンズ部門（コンベンショナル）

オールタックル・レンズ記録（コンベンショナルカテゴリー）は、60kg(130lb)までのラインクラスで釣られ、リリースされた魚の最大長である。ラインクラスの最大は60kg (130lb)までとし、それ以上のラインを使用した場合は失格となる。

### ● オールタックル・レンズ部門（フライ）

オールタックル・レンズ記録（フライカテゴリー）は、10kg(20lb)までのティペットクラスで釣られ、リリースされた魚の最大長である。それを超える強度のティペットを使用した場合は、コンベンショナルカテゴリーの申請として対応する。

### ● ジュニア・アングラー部門

ジュニア世界記録は、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最大重量である。ジュニアカテゴリーとは、11歳から16歳までのアングラーを対象とし、男女の別がある。対象魚は、ラインクラスおよびティペットクラス世界記録と同じである。釣りの規則としてはIGFAルールが適用されるが、魚を計測する場所は陸上に限定しない。

### ● スモールフライ部門

スモールフライ世界記録は、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最大重量である。スモールフライカテゴリーとは、10歳以下のアングラーを対象とし、男女の別がある。対象魚は、ラインクラスおよびティippetクラス世界記録と同じである。釣りの規則としてはIGFAルールが適用されるが、魚を計測する場所は陸上に限定しない。

### ● ラインクラスおよびフライロッド部門

ラインクラスの記録は、クラスラインの強度によって区分される。フライロッドの世界記録は、クラスティペットの強度によって区別される。

ラインクラス世界記録の対象魚種とフライロッド世界記録の対象魚種は同じである。ラインクラスとティペットクラスは以下のとおり。

#### ラインクラス

メートル法(kg)	1	2	3	4	6	8	10	15	24	37	60
ポンド表記(lb)	2	4	6	8	12	16	20	30	50	80	130

#### ティペットクラス

メートル法(kg)	1	2	3	4	6	8	10
ポンド表記(lb)	2	4	6	8	12	16	20

#### 【淡水魚の海および汽水でのキャッチについて】

淡水魚部門に記載されている魚は、海または汽水で釣ったものも淡水魚の世界記録として認められる。ただし釣り具および釣り方は「淡水魚」のルールに基づいたものでなければならない。

オールタックル世界記録を除き、魚種によってラインクラスが限定されている場合がある。種類ごとの最大ラインクラスは以下のとおりとする。

淡水魚 Freshwater Species		
日本名	英名/学名	最大ラインクラス
アロワナ	Arawana / <i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	10kg(20lb)
	Asp / <i>Leuciscus aspius</i>	10kg(20lb)
Barbel / <i>Barbus barbus</i>	10kg(20lb)	
Barramundi / <i>Lates calcarifer</i>	37kg(80lb)	
Bass, Australian / <i>Macquaria colonorum</i>	8kg(16lb)	
Bass, largemouth / <i>Micropterus salmoides</i>	10kg(20lb)	
Bass, smallmouth / <i>Micropterus dolomieu</i>	8kg(16lb)	
Bass, spotted / <i>Micropterus punctulatus</i>	10kg(20lb)	
Bass, striped (landlocked) / <i>Morone saxatilis</i>	24kg(50lb)	
Bass, whitecock / <i>Morone saxatilis x Morone chrysops</i>	10kg(20lb)	
Bowfin / <i>Ania calva</i>	15kg(30lb)	
Brycon / <i>Brycon spp.</i>	10kg(20lb)	
Buffalo, bigmouth / <i>Ictiobus cyprinellus</i>	37kg(80lb)	
Buffalo, smallmouth / <i>Ictiobus bubalus</i>	24kg(50lb)	
Carp, common / <i>Cyprinus carpio</i>	24kg(50lb)	
Carp, grass / <i>Ctenopharyngodon idellus</i>	37kg(80lb)	
Catfish, blue / <i>Ictalurus furcatus</i>	60kg(130lb)	
Catfish, channel / <i>Ictalurus punctatus</i>	37kg(80lb)	
Catfish, flathead / <i>Pylodictis olivaris</i>	60kg(130lb)	
Catfish, redtail / <i>Phractocephalus hemioliopterus</i>	60kg(130lb)	
Catfish, sharpooth / <i>Clarias gariepinus</i>	60kg(130lb)	
Char, Arctic / <i>Salevinius alpinus</i>	15kg(30lb)	
Dolly Varden / <i>Salevinius malma</i>	6kg(12lb)	
Dorado / <i>Salminus brasiliensis</i>	37kg(80lb)	
Gar, alligator / <i>Lepisosteus spatula</i>	60kg(130lb)	
Gar, longnose / <i>Lepisosteus osseus</i>	37kg(80lb)	
Grayling, Thymallus thymallus	4kg(8lb)	
Grayling, Arctic / <i>Thymallus arcticus</i>	6kg(12lb)	
Huchen / <i>Hucho hucho</i>	60kg(130lb)	
Inconnu / <i>Stenodus leucichthys</i>	37kg(80lb)	
Kokane / <i>Oncorhynchus nerka</i>	8kg(16lb)	
Muskellunge / <i>Esox masquinongy</i>	37kg(80lb)	
Muskellunge, tiger / <i>Esox masquinongy x E. lucius</i>	24kg(50lb)	
Nembwe / <i>Serranochromis robustus</i>	8kg(16lb)	
Payara / <i>Hydrolycus scomberoides</i>	10kg(20lb)	
Peacock, blackstriped / <i>Cichla intermedia</i>	8kg(16lb)	
Peacock, Blue / <i>Cichla piquiti</i>	10kg(20lb)	
Peacock, butterfly / <i>Cichla ocellaris</i>	10kg(20lb)	
Peacock, Orinoco / <i>Cichla orinocensis</i>	10kg(20lb)	
Peacock, speckled / <i>Cichla temensis</i>	15kg(30lb)	
Pellona, Amazon / <i>Pellona castelneaui</i>	15kg(30lb)	
Perch, Nile / <i>Lates niloticus</i>	60kg(130lb)	
Pike, northern / <i>Esox lucius</i>	37kg(80lb)	
Salmon, Atlantic / <i>Salmo salar</i>	60kg(130lb)	
Salmon, Atlantic (landlocked) / <i>Salmo salar</i>	15kg(30lb)	
Salmon, chinook / <i>Oncorhynchus tshawytscha</i>	60kg(130lb)	
Salmon, chum / <i>Oncorhynchus keta</i>	15kg(30lb)	
Salmon, coho / <i>Oncorhynchus kisutch</i>	24kg(50lb)	
Salmon, pink / <i>Oncorhynchus gorbuscha</i>	15kg(30lb)	
Salmon, sockeye / <i>Oncorhynchus nerka</i>	15kg(30lb)	
Snakehead / <i>Channa spp.</i>	24kg(50lb)	
Snapper, Papuan black / <i>Lutjanus goldiei</i>	37kg(80lb)	
Snapper, Pseudolabystoma spp.	60kg(130lb)	
Sturgeon / <i>Acipenseridae family</i>	60kg(130lb)	
Taimen / <i>Hucho taimen</i>	60kg(130lb)	
Tambaku / <i>Collossoma macropomum</i>	60kg(130lb)	
Tigerfish / <i>Hydrocynus vittatus</i>	24kg(50lb)	
Tigerfish, giant / <i>Hydrocynus goliath</i>	60kg(130lb)	
Trahira / <i>Hoplias spp.</i>	24kg(50lb)	
Trout, brook / <i>Salvelinus fontinalis</i>	10kg(20lb)	
Trout, brown / <i>Salmo trutta</i>	37kg(80lb)	
Trout, bull / <i>Salvelinus confluentus</i>	10kg(20lb)	
Trout, cutthroat / <i>Oncorhynchus clarki</i>	15kg(30lb)	
Trout, golden / <i>Oncorhynchus aguabonita</i>	10kg(20lb)	
Trout, lake / <i>Salvelinus namaycush</i>	60kg(130lb)	
Trout, rainbow / <i>Oncorhynchus mykiss</i>	37kg(60lb)	
Trout, tiger / <i>Salmo trutta x Salvelinus fontinalis</i>	15kg(30lb)	
Walleye / <i>Stizostedion vitreum</i>	15kg(30lb)	
Wels / <i>Silurus glanis</i>	60kg(130lb)	
Zander / <i>Stizostedion lucioperca</i>	15kg(30lb)	

海水魚 Saltwater Species		
日本名	英名/学名	最大ラインクラス
ビンナガ	Albacore / <i>Thunnus alalunga</i>	60kg(130lb)
カンパチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyraena barracuda</i>	60kg(130lb)
コクチシナギ	Barracuda, Guinean / <i>Sphyraena afra</i>	60kg(130lb)
ストライプトバス	Barracuda, Mexican / <i>Sphyraena ensis</i>	24kg(50lb)
アミキリ	Bass, European / <i>Dicentrarchus labrax</i>	15kg(30lb)
ボーンフィッシュ(大西洋)	Bass, giant sea / <i>Stereolepis gigas</i>	60kg(130lb)
ボーンフィッシュ(太平洋)	Bass, kelp (calico) / <i>Paralabrax clathratus</i>	10kg(20lb)
ハガソイ類	Bass, striped / <i>Morone saxatilis</i>	60kg(130lb)
ブリ	Bluefish / <i>Pomatomus saltatrix</i>	24kg(50lb)
スギ	Bonefish, Atlantic / <i>Albula spp.</i>	15kg(30lb)
マダラ	Bonefish, Pacific / <i>Albula spp.</i>	15kg(30lb)
シイラ	Bonito, Atlantic / <i>Sarda sarda</i>	15kg(30lb)
	Bonito, Pacific / <i>Sarda spp.</i>	15kg(30lb)
	Buri, Japanese Amberjack / <i>Seriola quinqueradiata</i>	37kg(80lb)
	Cobia / <i>Rachycentron canadum</i>	60kg(130lb)
	Cod, Atlantic / <i>Gadus morhua</i>	37kg(80lb)
	Cod, Pacific / <i>Gadus macrocephalus</i>	24kg(50lb)
	Conger / <i>Conger conger</i>	60kg(130lb)
	Corbina, California / <i>Menticirrhus undulatus</i>	8kg(16lb)
	Dentex / <i>Dentex dentex</i>	24kg(50lb)
	Dolphinfish / <i>Coryphaena hippurus</i>	60kg(130lb)
	Drum, black / <i>Pogonias cromis</i>	60kg(130lb)

Drum, red / <i>Sciaenops ocellatus</i>	60kg(130lb)
Flounder, summer / <i>Paralichthys dentatus</i>	15kg(30lb)
Grouper, black / <i>Mycteroperca bonaci</i>	60kg(130lb)
Grouper, broomtail / <i>Mycteroperca xenarha</i>	60kg(130lb)
Grouper, gag / <i>Mycteroperca microlepis</i>	60kg(130lb)
Grouper, goliath / <i>Epinephelus itajara</i>	60kg(130lb)
Grouper, red / <i>Epinephelus morio</i>	37kg(80lb)
Halibut, Atlantic / <i>Hippoglossus hippoglossus</i>	60kg(130lb)
Halibut, California / <i>Paralichthys californicus</i>	37kg(80lb)
Halibut, Pacific / <i>Hippoglossus stenolepis</i>	60kg(130lb)
Jack, almaco / <i>Seriola rivoliana</i>	60kg(130lb)
Jack, crevalle / <i>Caranx hippos</i>	37kg(80lb)
Jack, horse-eye / <i>Caranx latus</i>	24kg(50lb)
Jack, Pacific crevalle / <i>Caranx caninus</i>	24kg(50lb)
Kahawai / <i>Arripis spp.</i>	24kg(50lb)
Kawakawa / <i>Euthynus affinis</i>	15kg(30lb)
Ladyfish / <i>Elops spp.</i>	15kg(30lb)
Leerfish (Garlick) / <i>Lichia amia</i>	37kg(80lb)
Lingcod / <i>Ophiodon elongatus</i>	37kg(80lb)
Mackerel, cero / <i>Scomberomorus regalis</i>	15kg(30lb)
Mackerel, king / <i>Scomberomorus cavalla</i>	60kg(130lb)
Mackerel, narrowbarred / <i>Scomberomorus commerson</i>	60kg(130lb)
Mackerel, Pacific sierra / <i>Scomberomorus sierra</i>	15kg(30lb)
Mackerel, Spanish / <i>Scomberomorus maculatus</i>	10kg(20lb)
Madai / <i>Pagrus major</i>	24kg(50lb)
Marlin, black / <i>Makaira indica</i>	60kg(130lb)
Marlin, blue (Atlantic) / <i>Makaira nigricans</i>	60kg(130lb)
Marlin, blue (Pacific) / <i>Makaira nigricans</i>	60kg(130lb)
Marlin, striped / <i>Tetrapturus audax</i>	60kg(130lb)
Marlin, white / <i>Tetrapturus albidus</i>	60kg(130lb)
Meagre / <i>Argyrosomus spp.</i>	60kg(130lb)
Milkfish / <i>Chanos chanos</i>	37kg(80lb)
Permit / <i>Trachinotus falcatus</i>	37kg(80lb)
Pollack, European / <i>Pollachius pollachius</i>	24kg(50lb)
Pollock / <i>Pollachius virens</i>	37kg(80lb)
Pompano, African / <i>Alectis ciliaris</i>	37kg(80lb)
Pompano, snubnose / <i>Trachinotus blochii</i>	10kg(20lb)
Queenfish, talang / <i>Scomberoides commersonianus</i>	24kg(50lb)
Rockfish, yelloweye / <i>Sebastodes ruberrimus</i>	24kg(50lb)
Roosterfish / <i>Nemipterus pectoralis</i>	60kg(130lb)
Runner, rainbow / <i>Elagatis bipinnulata</i>	24kg(50lb)
Sailfish, Atlantic / <i>Istiophorus platypterus</i>	60kg(130lb)
Sailfish, Pacific / <i>Istiophorus platypterus</i>	60kg(130lb)
Samson Fish / <i>Seriola hippo</i>	60kg(130lb)
Seabass, blackfin / <i>Lateolabrax latifrons</i>	15kg(30lb)
Seabass, Japanese / <i>Lateolabrax japonicus</i>	24kg(50lb)
Seabass, white / <i>Atractoscion nobilis</i>	60kg(130lb)
Seabream, gilthead / <i>Sparus aurata</i>	24kg(50lb)
Seatrat, spottet / <i>Cynoscion nebulosus</i>	10kg(20lb)
Shark, blacktip / <i>Carcharhinus limbatus</i>	60kg(130lb)
Shark, blue / <i>Prionace glauca</i>	60kg(130lb)
Shark, bonnethead / <i>Sphyrna tiburo</i>	15kg(30lb)
Shark, hammerhead / <i>Sphyrna spp.</i>	60kg(130lb)
Shark, mako / <i>Iurus spp.</i>	60kg(130lb)
Shark, porbeagle / <i>Lamna nasus</i>	60kg(130lb)
Shark, thresher / <i>Alopias spp.</i>	60kg(130lb)
Shark, tiger / <i>Galeocerdo cuvier</i>	60kg(130lb)
Shark, tope / <i>Galeorhinus galeus</i>	60kg(130lb)
Sharks, whaler / <i>Carcharinidae family</i>	60kg(130lb)
Shark, white / <i>Carcharodon carcharias</i>	60kg(130lb)
Sheepshead, Arthrosargus probatocephalus	15kg(30lb)
Skipjack, black / <i>Euthynnus lineatus</i>	15kg(30lb)
Snapper, (squirefish) / <i>Pagrus auratus</i>	24kg(50lb)
Snapper, African red / <i>Lutjanus agassizii</i>	60kg(130lb)
Snapper, Atlantic cubera / <i>Lutjanus cyanopterus</i>	60kg(130lb)
Snapper, grey / <i>Lutjanus griseus</i>	15kg(30lb)
Snapper, mullet / <i>Lutjanus artus</i>	37kg(80lb)
Snapper, mutton / <i>Lutjanus analis</i>	24kg(50lb)
Snapper, Pacific cubera / <i>Lutjanus novemfasciatus</i>	60kg(130lb)
Snapper, red / <i>Lutjanus campechanus</i>	37kg(80lb)
Snapper, yellowtail / <i>Ocyurus chrysurus</i>	10kg(20lb)
Snoek, Atlantic / <i>Centroprionus spp.</i>	37kg(80lb)
Snoek, Pacific / <i>Centroprionus spp.</i>	37kg(80lb)
Spearfish, Atlantic / <i>Tetrapturus spp.</i>	37kg(80lb)
Spearfish, shortbill / <i>Tetrapturus angustirostris</i>	60kg(130lb)
Swordfish / <i>Xiphias gladius</i>	60kg(130lb)
Tarpon / <i>Megalops atlanticus</i>	60kg(130lb)
Tautog / <i>Tautoga onitis</i>	24kg(50lb)
Threadfin, giant African / <i>Polydactylus quadrifilis</i>	60kg(130lb)
Threadfin, king / <i>Polydactylus macrochir</i>	24kg(50lb)
Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	24kg(50lb)
Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i>	24kg(50lb)
Trevally, giant / <i>Caranx ignobilis</i>	60kg(130lb)
Trevally, golden / <i>Gnathanodon speciosus</i>	24kg(50lb)
Trevally, White (Silver) / <i>Pseudocaranx dentex</i>	24kg(50lb)
Tripletail / <i>Lobotes surinamensis</i>	37kg(80lb)
T	

るだけ多くの情報を記入し、追加の実証的データと共に提出されなければならない。もし記録申請に不備がある場合は、不備についての説明書を添付し、次の条件に合っていれば記録審査が行われる。

1. 不備な点の理由説明書が上記期間内にIGFAに届けられた時。
2. 不備な点は、申請者の不可抗力と認められた時。
3. 不備な点は、諸事情を考慮して妥当とみなされる時間内に不足の資料を提出しなければいけない。不備のある申請に対する最終的な決定はIGFAの執行委員会によってなされる。

## ● 釣魚の計量測定

1. 釣魚は、政府機関や公式な精度認定団体によって認証を受けたハカリを使って計測しなければならない。釣魚の重量と利害関係のない人をできるだけ立ち合わせること。ハカリは、少なくとも年に1回精度認証を受けること。もしそのハカリが精度認証を受けていない場合は、できるだけ速やかに検査し、正確であることを証明しなければならない。魚を計測した時の状態に関する正式な報告書を申請書に添付すること。
2. ハカリの上に魚を固定するために板、袋またはロープなどを使用した場合は、その重量を計り、全体の重量から差し引かなければいけない。(写真を撮り提出する。)
3. 計量する時、釣り人が実際にその魚を釣る時に使用した釣り具を計量人と立合人に提示しなければいけない。
4. 推定による重量は認められない。ジュニア、スマールフライ記録を除き、海または内水面の船や、水に浮かぶ物体上で計量したものは認められない。
5. ハカリの目盛りに示された重量だけが認められる。これらの目盛りの微量な端数を目安に読んではいけない。ハカリが二つの目盛りの間を指した時は低い方の数値とする。
6. ハカリに関する疑義が生じた場合、IGFAは精度認証を要求する権利を有する。

## ● 記録申請の必要事項

世界記録を申請する際には、IGFAの申請書と、その魚を釣るのに使用した指定の長さのラインやリーダー以下の仕掛けを提出する。釣った魚と使用した釣り具の写真、魚の重量を計ったハカリの写真、釣り人と魚がいっしょに収まっている写真も添付する。

## ● 記録申請書

世界記録の申請には、IGFAの定める世界記録申請用紙を使用しなければいけない。www.igfa.org ないし最新のWorld Record Game Fishesに掲載されているものを使用すること。旧バージョンを使うことはできない。

申請書には、釣り人が使用したラインまたはティペットの強度を記入しなければいけない。ラインクラスまたはティペットクラス記録に関しては、使用した製品の表記強度が該当するIGFAラインクラスまたはティペットクラスを決定する(「世界記録のカテゴリー」を参照のこと)。すべてのラインは、表記された強度どおりであるか、IGFAが実際に検査を行う。ラインやティペットの試験結果が所定のクラスの強さを超えた(オーバーテスト)場合、申請は次の上位の部門とする。しかし低い試験結果(アンダーテスト)の場合、申請部門より下位のクラスにならない。海水と淡水の両方の記録に認められる最も強いラインク

ラスは、60kg(130lb)クラス、フライフィッシングの最も強いティペットクラスは10kg(20lb)クラスである。ラインまたはティペットがこれらの最大限の強さを超える試験結果が出た場合、申請は却下される。

魚の測定は、しばしば重量の検証や科学的研究のために重要とされるので、慎重を期して行なうべきである。正しい測定を行うために、記録申請用紙に掲載されている図を参照のこと。

釣り人はポートのキャプテン(該当する場合)、計量者(該当する場合)および現認者の署名と正確な住所などが申請書に記入されているか確かめる責任がある。IGFAの職員やレプレゼンタティブ、IGFAクラブのメンバーなどが現場にいる場合、現認者となつてもらうべきである。

申請において故意の偽造があった時は、将来のIGFA世界記録の申請資格を失い、既存の記録も無効とされる。

## ● ラインおよびティペットサンプル

フライフィッシング部門の記録申請にあたっては、使用したフライ、ティペット全体、リーダー全体を提出しなければいけない。これらはすべて連結された状態であること。

それ以外の部門の記録申請にあたっては、使用したフックすべて、リーダーとダブルラインの全部、およびダブルライン、リーダー、フックのいずれかに最も近いシングルラインを少なくとも5m添えなければならない。(ただし、日本記録と世界記録の両方を兼ねる場合は、JGFAとIGFAでそれぞれラインブレークテストを行うので、シングルライン部分は10m以上とする)。すべてのラインサンプルとリーダー(使用した場合)は連結された状態で提出しなければいけない。ラインサンプルが切れている、ないし上記の条件を満たしていない場合は、わかりやすい説明の文章を添えること。破断強度試験を行うことができない、ないし実際に使用したダブルラインやリーダー長の判断が不可能な場合、IGFAは申請を却下する権限を持つ。ルアーをリーダーに付けて使用した場合、リーダーはルアーのアイ部分で切るようにする。ラインサンプルは、傷つけることなく容易にほどける方法で提出しなければいけない。推奨できる方法は、段ボールを長方形に切り、両端に切込みを入れて使うことである。切り込みにラインの一端をしっかりと挟み、段ボールを芯にしてラインを巻く。巻き終わりも切り込みにしっかりと挟み、氏名とラインクラスを記入する。絡んでいたり、容易にほどけないラインサンプルは受け付けられない。

## ● 写真の要件

申請書には、魚の全長を示す写真、使用した釣り具の写真、魚の重量を計ったハカリの写真、釣り人と魚がいっしょに収まっている写真を添付する。

魚種判定のためには、できるだけ鮮明な写真を提出すべきである。これは交雑種や、混同されやすい魚種の場合に重要である。サメ類を申請する場合は、横から撮った画像だけではなく、歯の写真、頭と背中を上から撮影した写真も提出する。後者では、第一および第二背鰭間の隆起部の有無がはっきりと分かること。

魚は、ぶら下げた状態と平面に置かれた状態を鮮明に写す。魚はカメラに対して平らな状態にし、いかなる部分も隠れていないこと。ヒレは完全に伸びた状態とし、手で隠されていないこと。魚の口や吻部がはっきりと写っていること。サメやマグロ類のキールが、

テイルロープで隠されていないこと。

魚を置いて撮影する場合は、その場所をできるだけ平らにならし、魚の側にメジャーを置くことが推奨される。魚は様々な角度か

## IGFA ALL-TACKLE LENGTH RECORD

# オールタックル・レンジス・レコード

〈世界記録魚種〉

### IGFAオールタックル・レンジス・レコードの対象魚と申請可能サイズ

SALTWATER SPECIES (海水魚)	日本名など	申請できる最小サイズ
Albacore	<i>Thunnus alalunga</i>	61 cm
Amberjack, greater	<i>Seriola dumerili</i>	92 cm
Barracuda, great	<i>Sphyraena barracuda</i>	95 cm
Barracuda, Guinean	<i>Sphyraena afra</i>	95 cm
Barracuda, Mexican	<i>Sphyraena ensis</i>	65 cm
Bass, black sea	<i>Centroprarchus striata</i>	33 cm
Bass, European	<i>Dicentrarchus labrax</i>	46 cm
Bass, kelp (calico)	<i>Paralabrax clathratus</i>	33 cm
Bass, striped	<i>Morone saxatilis</i>	67 cm
Bluefish	<i>Pomatomus saltatrix</i>	59 cm
Bonefish	<i>Albulia spp.</i>	50 cm
Bonito, Atlantic	<i>Sarda sard</i>	42 cm
Bonito, Pacific	<i>Sarda spp.</i>	49 cm
Buri (Japanese amberjack)	<i>Seriola quinqueradiata</i>	52 cm
Cobia	<i>Rachycentron canadum</i>	85 cm
Cod, Atlantic	<i>Gadus morhua</i>	80 cm
Cod, Pacific	<i>Gadus macrocephalus</i>	56 cm
Corbina, California	<i>Menticirrhus undulatus</i>	33 cm
Dentex	<i>Dentex dentex</i>	49 cm
Drum, black	<i>Pogonias cromis</i>	67 cm
Drum, red	<i>Sciaenops ocellatus</i>	72 cm
Flounder, summer	<i>Parachates dentatus</i>	44 cm
Grouper, black	<i>Myceteroperca bonaci</i>	77 cm
Grouper, gag	<i>Myceteroperca microlepis</i>	66 cm
Grouper, red	<i>Epinephelus morio</i>	42 cm
Halibut, California	<i>Paralichthys californicus</i>	66 cm
Jack, almaco	<i>Seriola rivoliana</i>	80 cm
Jack, crevalle	<i>Caranx hippos</i>	57 cm
Jack, horse-eye	<i>Caranx latus</i>	50 cm
Jack, Pacific crevalle	<i>Caranx caninus</i>	50 cm
Kahawai (Australian salmon)	<i>Arrripis trutta</i>	41 cm
Kawakawa	<i>Euthynnus affinis</i>	47 cm
Ladyfish	<i>Elops spp.</i>	39 cm
Leerfish (Gerrick)	<i>Lichia amia</i>	61 cm
Mackerel, cero	<i>Scomberomorus regalis</i>	47 cm
Mackerel, king	<i>Scomberomorus cavalla</i>	75 cm
Mackerel, narrowbarred	<i>Scomberomorus commerson</i>	100 cm
Mackerel, Pacific sierra	<i>Scomberomorus sierra</i>	49 cm
Mackerel, Spanish	<i>Scomberomorus maculatus</i>	39 cm
Mahi	<i>Pagrus major</i>	40 cm
Meagre	<i>Argyrosomus spp.</i>	30 cm
Milkfish	<i>Chanos chanos</i>	60 cm
Permit	<i>Trachinotus falcatus</i>	52 cm
Pollock	<i>Pollachius virens</i>	56 cm
Pollack, European	<i>Pollachius pollachius</i>	50 cm
Pompano, African	<i>Alectis ciliaris</i>	58 cm
Pompano, Florida	<i>Trachinotus carolinus</i>	32 cm
Pompano, snubnose	<i>Trachinotus blochii</i>	39 cm
Queenfish, talang	<i>Scomberoides commersonianus</i>	60 cm
Rockfish, black/blue	<i>Sebastodes melanops</i>	31 cm
Rockfish, yelloweye	<i>Sebastodes ruberrimus</i>	51 cm
Roosterfish	<i>Nemipterus pectoralis</i>	81 cm
Runner, rainbow	<i>Elagatis bipinnulata</i>	60 cm
Samson fish	<i>Seriola hippos</i>	75 cm
Seabass, blackfin	<i>Lateolabrax latus</i>	47 cm
Seabass, Japanese (suzuki)	<i>Lateolabrax japonicus</i>	63 cm
Seabass, white	<i>Atractoscion nobilis</i>	83 cm
Seabream, gilthead	<i>Sparus aurata</i>	37 cm
SeatROUT, spotted	<i>Cynoscion nebulosus</i>	50 cm
Shark, bonnethead	<i>Sphyrna tiburo</i>	50 cm
Sheepshead	<i>Archosargus probatocephalus</i>	32 cm
Skipjack, black	<i>Euthynnus lineatus</i>	42 cm
Snapper (squarefish)	<i>Pagrus auratus</i>	47 cm
Snapper, African red	<i>Lutjanus agassizii</i>	69 cm
Snapper, cubera	<i>Lutjanus cyanopterus</i>	69 cm
Snapper, grey	<i>Lutjanus griseus</i>	37 cm
Snapper, mullet	<i>Lutjanus aratus</i>	58 cm
Snapper, mutton	<i>Lutjanus analis</i>	45 cm
Snapper, Pacific cubera	<i>Lutjanus novemfasciatus</i>	67 cm
Snapper, red	<i>Lutjanus campechanus</i>	48 cm
Snapper, yellowtail	<i>Ocyurus chrysurus</i>	34 cm
Snook, Atlantic	<i>Centropomus spp.</i>	25 cm
Snook, Pacific	<i>Centropomus spp.</i>	25 cm
Tarpon, oxeye	<i>Megalops cyprinoides</i>	75 cm
Tautog	<i>Tautoga onitis</i>	44 cm
Threadfin, giant African	<i>Polydactylus quadrifilis</i>	100 cm
Threadfin, king	<i>Polydactylus macrochir</i>	83 cm
Trevally, bigeye	<i>Caranx sexfasciatus</i>	44 cm
Trevally, bluefin	<i>Caranx melampygus</i>	58 cm
Trevally, giant	<i>Caranx ignobilis</i>	76 cm
Trevally, golden	<i>Gnathanodon speciosus</i>	48 cm
Trevally, White (Silver)	<i>Pseudocaranx dentex</i>	55 cm
Tripletail	<i>Lobotes surinamensis</i>	54 cm
Tuna, blackfin	<i>Thunnus atlanticus</i>	52 cm
Tuna, longtail	<i>Thunnus tonggol</i>	72 cm
	<i>Katsuwonus pelamis</i>	カツオ
Tunny, little	<i>Euthynnus alletteratus</i>	53 cm
Weakfish	<i>Cynoscion regalis</i>	48 cm
Yellowtail, California	<i>Seriola lalandi dorsalis</i>	80 cm
Yellowtail, southern	<i>Seriola lalandi lalandi</i>	78 cm
FRESHWATER SPECIES (淡水魚)	日本名など	申請できる最小サイズ
Arawana	<i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	41 cm
Asp	<i>Leuciscus aspius</i>	40 cm
Barbel	<i>Barbus barbus</i>	44 cm
Barramundi	<i>Lates calcarifer</i>	62 cm
Bass, Australian	<i>Macquaria novemaculeata</i>	27 cm
Bass, largemouth	<i>Micropterus salmoides</i>	48 cm
Bass, smallmouth	<i>Micropterus dolomieu</i>	34 cm
Bass, spotted	<i>Micropterus punctulatus</i>	34 cm
Bass, striped (landlocked)	<i>Morone saxatilis</i>	ストライプバス(陸封型)
Bass, white		24 cm
Bass, whiterock	<i>Morone saxatilis M. chrysops</i>	ホワイトロックバス
Bluegill	<i>Lepomis macrochirus</i>	19 cm
Bowfin	<i>Amia calva</i>	45 cm
Brycon	<i>Brycon spp.</i>	24 cm
Buffalo, bigmouth	<i>Ictiobus cyprinellus</i>	48 cm
Buffalo, smallmouth	<i>Ictiobus bubalus</i>	50 cm
Carp, common	<i>Cyprinus carpio</i>	55 cm
Carp, grass	<i>Ctenopharyngodon idella</i>	66 cm
Catfish, blue	<i>Ictalurus furcatus</i>	73 cm
Catfish, channel	<i>Ictalurus punctatus</i>	60 cm
Catfish, flathead	<i>Pylodictis olivaris</i>	75 cm
Catfish, redtail (pirarara)	<i>Phractocephalus hemiolopterus</i>	69 cm
Catfish, sharpooth	<i>Clarias gariepinus</i>	85 cm
Char, Arctic	<i>Salvelinus alpinus</i>	51 cm
Crappie, black	<i>Pomoxis nigromaculatus</i>	24 cm
Crappie, white	<i>Pomoxis annularis</i>	24 cm
Dolly Varden	<i>Salvelinus malma</i>	オショロコマ
Dorado	<i>Salminus maxillosus</i>	55 cm
Gar, Florida	<i>Lepisosteus platyrhincus</i>	42 cm
Gar, longnose	<i>Lepisosteus osseus</i>	77 cm
Gar, shortnose	<i>Lepisosteus platostomus</i>	38 cm
Grayling	<i>Thymallus thymallus</i>	25 cm
Grayling, Arctic	<i>Thymallus articus</i>	37 cm
Huchen	<i>hucho hucho</i>	72 cm
Inconnu	<i>Stenodus leucichthys</i>	64 cm
Kokane	<i>Oncorhynchus nerka</i>	32 cm
Muskellunge	<i>Esox masquinongy</i>	76 cm
Muskellunge, tiger	<i>Esox masquinongy x Esox Lucius</i>	57 cm
Nembwe	<i>Serranochromis robustus</i>	27 cm
Oscar	<i>Astronotus ocellatus</i>	19 cm
Payara		

## 日本記録の対象魚(ラインクラス部門)

記録申請魚の最低重量は、ラインクラスの1/2以上であることが望ましい。ただし、最大と思われる重量がこの基準に達しない魚種についてはその限りではありません。  
 ●印のついている魚種はラインクラス部門の世界記録認定魚。他の魚種は、ラインクラス部門の国際魚種に認定されるまでは、オールタックル世界記録部門、オールタックル日本記録のみの対象魚となります。  
 ※アカメ、イトウなどの環境省レッドデータブック記載種は、リリース前提での記録申請受付となります。

※コクチバスなどの外来魚の申請は外来生物法の規定にそって受け付けます。外来生物法では規定していないキャッチャ&リリースについては、各都道府県および関連地方自治体の指示に従うこととします(2016年7月5日JGFA理事会決定)。  
 ※タイリクスズキに関しては、オールタックル部門および10ポンドシーバスクラブ、年間フィッシングコンテストの対象として申請を受け付けることになりました(2020年4月1日より)。  
 フライフィッシング部門における最大ティペットクラスは10kgです。

### 船からの釣り Off Shore

日本名 英名/学名 最大ラインクラス

アイナメ	Greenling, fat / <i>Hexagrammos otakii</i>	10kg(20lb)
アブラソコムツ	Escarol / <i>Lepidocybium flavobrunneum</i>	37kg(80lb)
アラ	Ara / <i>Niphon spinosus</i>	37kg(80lb)
イシガキダイ	Parrotperch, spotted / <i>Oplegnathus punctatus</i>	60kg(130lb)
イシダイ	Parrotperch, Japanese / <i>Oplegnathus fasciatus</i>	37kg(80lb)
イシナギ類	Bass, giant sea / <i>Stereolepis</i> spp.	60kg(130lb)
イセゴイ	Tarpon, oxeye / <i>Megalops cyprinoides</i>	10kg(20lb)
●イソマグロ	Tuna, dogtooth / <i>Gymnosarda unicolor</i>	60kg(130lb)
●オニベ	Meagre, Japanese / <i>Argyrosomus japonicus</i>	60kg(130lb)
●オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyraena barracuda</i>	60kg(130lb)
●カスミアジ	Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i>	24kg(50lb)
●カツオ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
カッポレ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
●カマスマワラ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
●カライワシ	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
●カンパチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
キチヌ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
●キハダ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
●ギンガメアジ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	37kg(80lb)
クエ	Grouper, longtoooth / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
●クロカジキ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
クロソイ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
クロダイ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
●クロマグロ(太平洋)	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
クロメジナ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
コクハニアラ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
サワラ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
●シイラ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	37kg(80lb)
●シマアジ	Grouper, long longooth / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
●シロギ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
●スマ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
タケノコメバル	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
タチウオ類	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
ツノザメ類	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
●ツムブリ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
●ハガツオ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
●バショウカジキ(太平洋)	Trevally, white / <i>Pseudocaranx dentex</i>	24kg(50lb)
ハマフエフキ	Grouper, long longooth / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
バラフエフキ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
●ヒラズスキ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
●ヒラマサ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
ヒラメ	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
●ヒレナガカンパチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
●ブリ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
ボラ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
●マダイ	Trevally, white / <i>Pseudocaranx dentex</i>	24kg(50lb)
ミナミクロダイ	Grouper, long longooth / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
ミナミマゴチ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
メジナ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
●ヨコシマサワラ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
●ロウニンアジ	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)

### 淡水の釣り Freshwater

アカメ	Lates, Japanese(akame) / <i>Lates japonicus</i>	37kg(80lb)
アマゴ(サツキマス)	Trout, red-spotted masu / <i>Oncorhynchus masou macrostomus</i>	10kg(20lb)
●アメリカナマズ	Catfish, channel / <i>Ictalurus punctatus</i>	37kg(80lb)
イトウ	Huchen, Japanese / <i>Parahucho perryi</i>	24kg(50lb)
イワナ(アメマス)	Char, whitespotted / <i>Salveninus leucomelas</i>	10kg(20lb)
●オオクチバス	Bass, largemouth / <i>Micropterus salmoides</i>	10kg(20lb)
カムルチ(ハイワンドジョウ)	Snakehead / <i>Channa</i> spp.	24kg(50lb)
●カラフトマス	Salmon, pink / <i>Oncorhynchus gorbuscha</i>	15kg(30lb)
●コイ	Carp, common / <i>Cyprinus carpio</i>	60kg(130lb)
コウライニゴイ	Barbel, steed / <i>Hemibarbus lebeo</i>	10kg(20lb)
●シロザケ	Salmon, chum / <i>Oncorhynchus keta</i>	24kg(50lb)
●ソウギョ	Carp, grass / <i>Ctenopharyngodon idellus</i>	60kg(130lb)
ナマズ	Catfish, amur / <i>Silurus asotus</i>	10kg(20lb)
ニゴイ	Nigoi / <i>Hemibarbus barbus</i>	10kg(20lb)
●ニジマス	Trout, rainbow / <i>Oncorhynchus mykiss</i>	37kg(80lb)
ビワコオオナマズ	Catfish, Lake Biwa / <i>Silurus biwaensis</i>	10kg(20lb)
●ブラウントラウト	Trout, brown / <i>Salmo trutta</i>	37kg(80lb)
マルタ	Redfin, Pacific / <i>Tribolodon brandtii</i>	10kg(20lb)
ヤマメ(サクラマス)	Trout, masu / <i>Oncorhynchus masou</i>	10kg(20lb)

### 岸(磯)からの釣り Shore

アイナメ	Greenling, fat / <i>Hexagrammos otakii</i>	10kg(20lb)
イシガキダイ	Parrotperch, spotted / <i>Oplegnathus punctatus</i>	60kg(130lb)

### ■日本記録対象魚(ラインクラス部門)の追加および参考記録

現時点でJGFA日本記録ラインクラス部門の対象となっていない魚種についても、それらの魚種の記録申請を受け付け、1魚種あたりの申請人数が各部門(船釣り、磯釣り、淡水、フライフィッシング)ごとに10人を越えた時点で、新たなラインクラス部門対象魚として追加するか否かを検討する。記録申請人数が10人に満たない時点でも、これらの記録は公式に審査され、審査をクリアした段階で参考記録として保存される。(1993年1月1日発効)  
 (当面は現行ルールに従うものとするが、JGFA日本記録・ラインクラス部門対象魚の決定は、審査委員会で検討することとする)  
 (1996年11月5日)

### ■日本記録「オールタックル部門」

日本領土および専管水域(200カイリ)内で釣られたすべての魚種(正式な学名のつけられているもの)について、「オールタックル部門」を設ける。この場合、現在および将来にわたり、ラインクラス部門での最大重量魚は、自動的にオールタックル部門の記録として認定される。日本記録オールタックル部門の規定は、IGFAルールに準ずるものとする。(1994年1月1日より発効。ただし申請期限は、特別の理由がないかぎり釣った日より30日以内とする。)

## J G F A    ALL - T A C K L E    L E N G T H    R E C O R D オールタックル・レンゲス・レコード

(日本記録魚種)

### JGFA 日本記録・オールタックル・レンゲス・レコード対象魚

魚名	初回申請時の 最低長(cm)	IGFAレンゲス 部門対象魚	備考
アイナメ	45		海水・JGFA日本記録ラインクラス対象魚
イシガキダイ	50		//
イシダイ	50	V	//
イセゴイ	48	V	//
オニベ	30	V	//
オニカマス	95	V	//
カスミアジ	58	V	//
カツオ	49	V	//
カッポレ	60		//
カマスマワラ	92	V	//
カライワシ	45		//
カントリーパ	80		//
シラ	80		//
シマアジ	55	V	//
スズキ	63	V	//
スマ	47	V	//
タケノコメバル	25		//
ツムブリ	60	V	//
ハマフエフキ	49	V	//
バラフエフキ	60		//
ヒラズスキ	80		//
ヒラマサ	80		//
ヒラメ	80		//
マダイ	47	V	//
ミナミクロダイ	45		//
ミナミマゴチ	50		//
メジナ	45		//
メダイ	60		//
ヨコシマサワラ	100	V	//
ロウニンアジ	76	V	//

魚名	初回申請時の 最低長(cm)	IGFAレンゲス 部門対象魚	備考
イシガレイ	50		海水(GFA日本記録ラインクラス対象魚外)
カワハギ	28		//
コシナガ	72	V	//
サバヒー	60	V	//
シロギス	25		//
マアジ	45		//
マコガレイ	50		//
マサバ	50		//
マツダイ	48	V	//
マルコバン	39	V	//
アカメ	100		淡水・JGFA日本記録ラインクラス対象魚
アマゴ(サツキマス)	45		//
アメリカナマズ	60	V	//
イトウ	80		//
イワナ(アメマス)	45		//
オオクチバス	48	V	//
カルムチー	29	V	//
カラフトマス	39	V	//
コイ	55	V	//
コウラニゴイ	45		//
シロザケ	48	V	//
ソウギョ	66	V	//
ナマズ	50		//
ニゴイ	45		//
ニジマス	54	V	//
ビワコオオナマズ</			

## JGFAへの世界&日本記録申請における注意点

### 提出が求められるもの

世界記録もしくは日本記録を申請する場合には、以下に挙げるものをJGFA事務局に提出しなければならない。

#### 1 公式申請書(1件の申請に対して1通)

JGFAは会員全員に、公式の記録申請書を配布しているのでこれを使用する。釣行の際には携行することをお勧めする。(複写して使用しても差し支えない。)

#### 2 ラインサンプル

申請の対象となった魚を釣り上げる時に使用したライン、リーダー等の仕掛け。詳しくは、以下の「ラインサンプルの提出方法」を参照のこと。

#### 3 記録を証明する写真(数点)

詳しくは、次ページ「記録申請に必要な写真と撮り方」を参照のこと。

### 申請書への記入について

申請書への記入は幾つかの署名欄を除いて、すべて申請者が明確に記入し、提出する際には記入漏れがないか必ず確認すること。

#### ■署名欄について

申請には以下に挙げる署名が必要となる。署名漏れや署名の重複は申請を受理されない場合があるので注意が必要である。

##### (1) 船を用いた場合

(イ) 船長の署名

(ロ) 乗組員1名の署名

##### (2) ウエイマスター(計量人)の署名

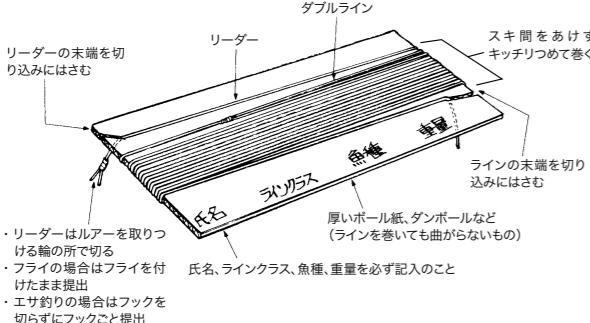
##### (3) 計量立ち会い人の署名(申請者、船長、ウエイマスター以外の者)

##### (4) 現認者(公証人)の署名(現認者とは、最終的に本申請書を正当なものと認めた者)

##### (5) 上記以外で捕獲を証明できる2名以上の署名

### ラインサンプルの提出方法

#### ■記録申請のための提出方法



#### 1 ラインクラス部門(海水/淡水)およびオールタックル部門の記録申請

使用したリーダーとダブルラインの全部、およびダブルラインかリーダー、

フックに最も近いシングルラインを少なくとも5m(16.5フィート)を提出

### 魚の測定について

魚の測定はIGFAルールの定める諸規則に従い、極めて慎重に行われるべきである。

### 世界記録の申請期限

アメリカ国内では釣った日から60日以内、その他の水域では釣った日から90日以内にIGFAに受理されなければいけない。ただし、オールタックル部門への申請については、要件を満たしていれば90日を過ぎても申請できる。

### 日本記錰の申請期限

すべての部門において、日本領土及び専管水域(200カイリ)内で釣った魚の記録申請は、釣った日から30日以内にJGFAに受理されなければいけない。ただし、離島など交通の便の悪い遠隔地からの申請や、何らかの理由があつて申請書の提出が遅れる場合には、その旨を示した文書を提出し、JGFA審査委員会がやむを得ない事由と判断した場合は、30日間の延長が認められる。

### 世界記録に相当する日本記録の審査、認定について

2011年1月より続いておりました「世界記録に相当する日本記録は、世界記録の結果を待って判断する」という規定を破棄し、世界記録に相当するものはもちろん世界記録に申請いたしますが、それらの日本記録については世界記録の結果を待つことなく別個に審査する方向といつしました。この規定は2017年4月以降の審査から適用しております。ただしフライフィッシングの場合は、世界記録に相当するものは、JGFA事務局ではクラスピベットを切れませんので、従来どおりIGFAに世界記録申請し、その結果を日本記録に反映いたします。

## 記録申請に必要な写真と撮り方



①本人が釣ったことを証明する写真  
釣り人(本人)及び申請する魚、使用した釣り道具と一緒に写す。背景は乱雑な場所を避ける。魚は尾柄部をヒモで縛り、吊り下げるよう手で持つ。手で持てない大きな魚は支柱などに吊り下げる。魚のリリースを考慮した場合は、ヒモで吊るす必要はない。  
魚種判定に支障をきたすことがあるので、JGFA記録用紙は魚体に貼りつけない。



③魚の重量を証明する写真  
魚をハカリに掛け、重さを量っている様子を写す。数値が読める目盛のクローズアップ写真も撮っておく。ストロボ撮影のときは、反射で目盛が読みづくなることがあるので、上皿パカリなどの文字盤前面のカバーは外しておくとよい。



②魚種判定、記録の正確さを証明する写真  
魚を地面(平らで魚体のすべてが良く見える場所)に置き、各ヒレは広げて、全体像を真正から写す。この時、魚のすぐ横に目盛が読めるようにメジャーを置くべきである。



④魚種特定のための魚体クローズアップ写真  
魚種の判別に疑問が生じないように、特徴となる部位を拡大して写す。種類の混同しやすい、バス類・イワナ類・サーモン類・トラウト類・カジキ類・マグロ類・サメ類・ヒラアジ類については特に重要である。



⑤ルアーのフック配列を証明できる写真  
ルアーを使用した場合、ルアーの全体像を長さ、フック配列がわかるように写す。



### リリースに関するルールと推奨事項

IGFAは、以下のいずれかが起こった場合、正式にその魚をリリースしたと判断します。

#### A. メイトがリーダーを握った。

#### B. スイベルがロッドティップに到達した。

#### C. リーダーとメインライン/ダブルライン/フライラインの間のコネクション(ノットやスプライスなど)がロッドティップを通過した。

リーダーの長さはIGFAルールに合致するものとします。10kg(20lb)までのラインでは、リーダーは15フィート(4.57m)を超えることができません。10kg(20lb)を超える太さのラインを使っている場合、リーダーは30フィート(9.14m)を超えることができません。リーダーの長さにはルアーやフックの長さも含みますので、最後のフックのベンドを末端と考えます。IGFAルールにおいてフライフィッシングのリーダー最大長は規定がありませんが、クラスピベットは最大10kg(20lb)となっていますので、ルアーやエサ釣りのタックルの場合と同様にフライフィッシングの場合、リーダー全長の上限は15フィート(4.57m)とし、最後



のフックのベンドを末端と考えます。ショックティベットは12インチ(30.48cm)を超えることが許されず、クラスピベットは少なくとも15インチ(38.10cm)なければなりません。

このルールは、とくにトーナメントにおいて迅速でコンディションの良いリリースを実現してくれることでしょう。このルール採用に伴い、IGFAトラスティは安全で倫理的なリリースにつながる推奨事項を次のように明文化しました。

- ライブベイトやデッドベイトを使う場合は、サークルフックの使用が推奨されます。
- フックを安全に、魚にダメージなく外せる場合は、外してリリースしましょう。
- もしフックが外せない場合は、できるだけ近い位置でリーダーを切りましょう。
- リーダーを握って意図的にそれを強く引き、切るのはやめましょう。あご以外の場所にフックがかかっている場合、魚に大きなダメージが起こります。
- ファイトで疲れた魚は、エラに水を通しながら、時間をかけて回復させてやります。
- ネットを使う場合には、結び目のないラバーコーティングされたものを選びましょう。

## JGFA日本記録 <IGFAルールの使用が前提です>

部門またはクラブ	使用ルール	対象魚	最大ラインクラス	申請できる魚の最低サイズ	申請期限	男女別	申請書	写真	船上での計量	使用ライン仕掛け
オールタックル 日本記録	IGFA ルール	日本国内で釣ったすべての魚種	60kg (130lb) 以下	1ポンド(453g) 以上。ただし その魚種の最大と思 われるものの1/2 以上	釣った日 より30日 以内	なし	日本記録 申請用紙を 使用	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	不可	必要
ラインクラス 海水部門 ・船釣り ・岸釣り	IGFA ルール	JGFAが指定し た魚種 (該当箇所を参 照)	魚種により 違う(該当 箇所を参 照)	1ポンド (453g) 以上	釣った日 より30日 以内	あり	日本記録 申請用紙を 使用	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	不可	必要
ラインクラス 淡水部門	IGFA ルール	JGFAが指定し た魚種 (該当箇所を参 照)	魚種により 違う(該当 箇所を参 照)	1ポンド (453g) 以上	釣った日 より30日 以内	あり	日本記録 申請用紙を 使用	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	不可	必要
ティペットクラス (フライ)部門	IGFA ルール	ラインクラス部門 (淡水・海水) に指定されてい る魚種	10kg (20lb)以下	1ポンド (453g) 以上	釣った日 より30日 以内	あり	日本記録 申請用紙を 使用	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	不可	必要
ジュニア日本記録	IGFA ルール	日本国内で釣ったすべての魚種	60kg (130lb) 以下	1ポンド (453g) 以上	釣った日 より30日 以内	あり (16歳 以下)	日本記録 申請用紙を 使用	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	可	必要
オールタックル・ レングス部門 (コンベンショナル =フライ以外)	IGFA ルール	JGFAが指定し た魚種((該当 箇所を参 照)	60kg (130lb) 以下	魚種によって最 低 長の設定あり (該当箇所を参 照)	釣った日 より30日 以内	なし	日本記録 申請用紙を 使用	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	可	必要
オールタックル・ レングス部門(フライ)	IGFA ルール	JGFAが指定し た魚種((該当 箇所を参 照)	10kg (20lb) 以下	魚種によって最 低 長の設定あり (該当箇所を参 照)	釣った日 より30日 以内	なし	日本記録 申請用紙を 使用	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	可	必要

申請資格：オールタックル=JGFA会員および非会員、ラインクラス部門=JGFA会員のみ、ジュニア部門=ジュニア会員のみ

申請料：サポート会員を除くJGFA会員=無料、サポート会員=6,000円、非会員=10,000円(入会費用込み)

提出するラインサンプルは、以下の要件を満たすこと。

- ①実際に使用したラインであること。
- ②ダブルライン、ショックリーダーなどを使用した場合、必ずシングルラインと連結した状態で段ボールに巻き提出(氏名、ラインクラス、魚名、重量を記入)。
- ③提出するシングルライン(道糸)は最低5メートル。世界記録に相当するような場合は10メートル。
- ④使用した仕掛けの実物またはスケッチを提出。

## JGFAスペシャルクラブ <IGFAルールの使用が前提です>

クラブ名	対象魚	申請できる魚の最低サイズ	写真	ライン・仕掛けの提出	船上での計量	その他の条件
5ポンドオーバークラブ	クロダイ、メジナ類	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	—
5ポンドオーバークラブ	アイナメ、ソイ類	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	—
10ポンドオーバークラブ	マダイ、ヒラメ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	—
10ポンドオーバークラブ	イシダイ、イシガキダイ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
100ポンドオーバークラブ	日本国内で釣ったすべての魚	100ポンド(45.00kg)以上	必要	不要	可	スタンディングファイトのみ
5ポンドバスクラブ	オオクチバス	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
10ポンドシーバスクラブ	スズキ、ヒラズキ、タイリクズキ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
200kgクラブ	日本国内で釣ったすべての魚	200kg以上	必要	不要	不可	—
300kgクラブ	日本国内で釣ったすべての魚	300kg以上	必要	不要	不可	—
メーターオーバークラブ	全長1m以上の淡水魚(コイ、ソウギョ、アオウオ、ハクレ、コクレン、カムルチー、ビワコオナマズ、イトウ、アカメなど)	全長1m以上	必要	不要	可	リリース前提

- 使用ルール：IGFAルール ●最大ラインクラス：60kg(130lb) ●申請期限：釣った日より30日以内 ●男女別：なし
- 申請資格：釣った時点ですでに会員であること(サポート会員は除く) ●申請料：無料 ●申請書：日本記録申請用紙を使用

- 写真の提出：必要(種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと) ●使用ライン・仕掛けの提出：不要

## IGFA世界記録部門とスペシャルクラブ

### IGFA世界記録

部門	使用ルール	対象魚	最大ラインクラス	申請できる魚の最低サイズ	申請期限	男女別	申請書	写真	使用ライン仕掛け	申請料
オールタックル部門	IGFA ルール	世界中のすべての魚	60kg (130lb) 以下	1ポンド(453g) 以上。ただし その魚種の最大と思 われるものの1/2 以上	制限なし (過去のもの でも可)	なし	翻訳サービ スあり (無料)	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	必要	\$100(非IGFA 会員)ないし\$50 (IGFA会員)
ラインクラス部門 海水・淡水	IGFA ルール	JGFAが指定した 魚種(該当箇所 を参照)	魚種により 違う(該当 箇所を参 照)	ラインクラスの 1/2 以上	釣った日か ら60日以 内(米国外 90日以内)	あり	翻訳サービ スあり (無料)	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	必要	\$100(非IGFA 会員)ないし\$50 (IGFA会員)
ティペットクラス (フライ)部門 海水・淡水	IGFA ルール	JGFAが指定した 魚種(該当箇所 を参照)	10kg (20lb)以下	ティペットクラス の 1/2 以上	釣った日か ら60日以 内(米国外 90日以内)	あり	翻訳サービ スあり (無料)	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	必要	\$100(非IGFA 会員)ないし\$50 (IGFA会員)
ジュニア部門	IGFA ルール	JGFAが指定した 魚種(該当箇所 を参照)	60kg (130lb) 以下	ラインクラスの 1/2 以上	釣った日か ら60日以 内(米国外 90日以内)	年齢別 あり、 男女別 あり	翻訳サービ スあり (無料)	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	必要	\$100(非IGFA 会員)ないし\$50 (IGFA会員)
オールタックル・ レングス部門 (コンベンショナル =フライ以外)	IGFA ルール	JGFAが指定した 魚種(該当箇所 を参照)	60kg (130lb) 以下	魚種によって最 低 長の設定あり (該当箇所を参 照)	制限なし (過去のもの でも可)	なし	翻訳サービ スあり (無料)	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	必要	\$100(非IGFA 会員)ないし\$50 (IGFA会員)
オールタックル・ レングス部門(フライ)	IGFA ルール	JGFAが指定した 魚種(該当箇所 を参照)	10kg (20lb) 以下	魚種によって最 低 長の設定あり (該当箇所を参 照)	制限なし (過去のもの でも可)	なし	翻訳サービ スあり (無料)	必要 (種類・撮り 方に関しては 該当ページを 参照のこと)	必要	\$100(非IGFA 会員)ないし\$50 (IGFA会員)

- 使用ルール：IGFAルール ●申請料：IGFA会員登録が必要(デジタル会員：3000円、個人会員：5000円)、その他の申請料はJGFAが負担 ●申請書：翻訳サービスあり(無料)
- 写真の提出：必要(種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと) ●使用ライン・仕掛けの提出：必要

### スペシャルクラブ

部門	対象魚	申請できる魚の最低サイズ	申請料
トロフィーフィッシュ・クラブ	バラマンディ	23kgもしくは叉長125cm以上	\$100(非IGFA会員)ないし\$50(IQFA会員)
	ボーンフィッシュ	4.5kgもしくは叉長70cm以上	
	シイラ	23kgもしくは叉長130cm以上	
	ラージマウスバス	4.5kgもしくは叉長60cm以上	
	マスケランジ	13.5kgもしくは叉長130cm以上	
	ルースターフィッシュ	23kgもしくは叉長130cm以上	
	スヌーカ	11.5kgもしくは叉長95cm以上	
	スペックルドビーコック	10kgもしくは叉長85cm以上	
	ストライプバス	23kgもしくは叉長130cm以上	
	キハダ、メバチ	90kgもしくは叉長170cm以上	
グランドスラム・クラブ (指定魚種のうち3種を1日で)	バスカテゴリー： ラージマウス、ロック、スマモルマウス、ストライプト、スボッティッド、ショール、ホワイト、ホワイトロック		\$100(非IGFA会員)ないし\$50(IQFA会員)
	ビルフィッシュカテゴリー： クロカジキ(太平洋および大西洋)、シロカジキ、マカジキ、タイセイヨウマカジキ、パショウカジキ(太平洋および大西洋)、ウライカジキ、メカジキ		
	インショアカテゴリー： ボーンフィッシュ、スヌーカ、ターボン、バーミット、クベラ、スナッパー、カスミアジ、ロウニンアジ、ミルクフィッシュ、ルースターフィッシュ、マルコバン		
	オフショアカテゴリー： ビルフィッシュ全種、マグロ類全種、シイラ、カマスサワラ、サーモンカテゴリー： アトランティック、キンギ、レッド、シルバー、チャム、ピンク		
	シャークカテゴリー： ブラックティップ、ブルー、ブル、ハンマーヘッド、マコ、ボービーグル、スレッシャー、タイガー、トーブ		
	トラウトカテゴリー： ブルック、ブラウン、ブル、カットスロート、ゴールデン、レイク、レインボー		
	ツナカテゴリー：メバチ、タイセイヨウマグロ、クロマグロ、イソマグロ、コシナガ、カツオ、ミナミマグロ、キハダ		
	ロイヤルスラム・クラブ	上記各カテゴリーにおいて、指定の全魚種を生涯のうちにキャッチ	

スペシャルクラブ申請の際にも、IGFAルールが適用されます。申請制限はなく、過去に釣った魚も対象とすることができます。男女のカテゴリーは設定されていません。写真の提出が必要です。  
●IGFAスペシャルクラブへの申請料は自己負担とさせていただきます。

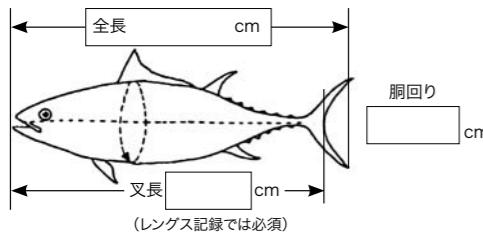
# 日本記録・世界記録・スペシャルクラブ・ フィッシングコンテスト

## 申請書

- 提出物はJGFAないしIGFAの所有物となり、返却はいたしませんのでご注意ください。
- 記録申請書はこの最新版のみを使用し、旧版は使わないでください。

### ★申請するカテゴリー(該当す□に✓を入れてください)

- ラインクラス世界記録 ライン: \_\_\_\_\_lb \_\_\_\_\_kg
- フライロッド世界記録 ティペット: \_\_\_\_\_lb \_\_\_\_\_kg
- オールタックル世界記録 オールタックル・レンゲス世界記録
- ラインクラス日本記録 ライン: \_\_\_\_\_lb \_\_\_\_\_kg
- フライロッド日本記録 ティペット: \_\_\_\_\_lb \_\_\_\_\_kg
- オールタックル日本記録 オールタックル・レンゲス日本記録
- フライ・レンゲス世界記録 フライ・レンゲス日本記録
- ジュニア日本記録 年齢: \_\_\_\_\_歳
- JGFAスペシャルクラブ: \_\_\_\_\_クラブ
- フィッシングコンテスト



魚種名 (標準和名)			
重量 (小数点第2桁まで)	kg		

釣り方  船釣り  岸釣り  川・湖の釣り  フライ

釣った日 西暦 20 年 月 日

ポート名  
(使用した場合)

釣り場 できるだけ詳しく

釣った時の  
状況・感想

釣り人氏名  
(原則としてJGFA会員登録氏名) フリガナ 印

JGFA所属  
クラブ クラブ名 会員番号  個人会員

住所 フリガナ 印

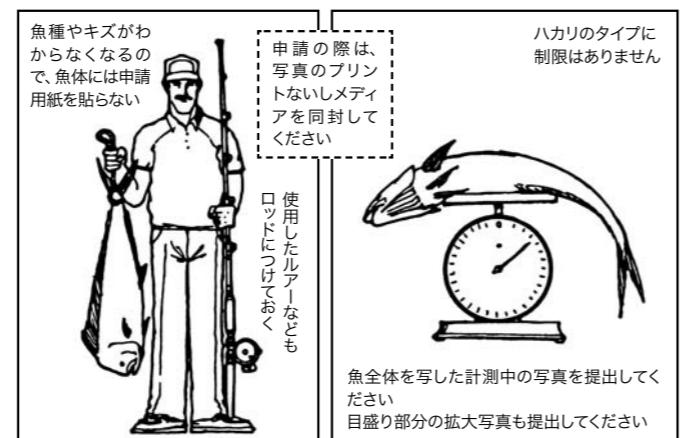
電話番号 — —

FAX番号 — —

メールアドレス @

現認者署名  
(公証人) フリガナ 印

ロッド	メーカー名 製品名
ティップ長	リールシートの中心から 竿先まで cm
バット長	リールシートの中心から バットエンドまで cm
リール	メーカー名 製品名
メインライン/ ティペット	メーカー名 製品名 強度表示 lb kg
フライライン	メーカー名 製品名 番手
ダブルライン	<input type="checkbox"/> 使わない <input type="checkbox"/> 使った cm *フライの場合は「使わない」にチェック
リーダー	<input type="checkbox"/> 使わない <input type="checkbox"/> 使った cm *フライの場合はショックティペット
エサ/ルアー/ フライ	名前 フックの数 本 製品(パターン)名



★日本(世界)記録申請の場合は、上の2枚の他に次のものもご提出いただきます。

- ①魚種判定できる写真(1枚以上)
- ②ルアーの写真ないしスケッチ(フック配列のわかるもの)

★キャッチを録画したビデオはありますか?

- ある  ない

★魚はどうされましたか?

- キャッチ&リリース  タグ&リリース  持って帰った  その他

### JGFA事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館 4F  
TEL. 03-6280-3950 FAX. 03-6280-3952

JGFA日本記録、IGFA世界記録などに相当する場合は、使用したラインサンブル、仕掛け(フックを含む)などをご提出いただきます。フライフィッシングの場合、フライを付けたままでリーダー全体を、他のカテゴリーではダブルラインやリーダー(使用した場合)を接続した状態のメインラインを、少なくとも5m(世界記録にも相当する場合は10m)ご提出願います。ルアーを使った場合、その写真も求められます(ない場合はスケッチも可)。

釣り人署名欄:

- [誓約条項]
- 申請された記録データは、JGFA会員登録された氏名で公開することを承諾します。
  - 提出された写真は、特別の許諾なしでJGFA関連の広報物に使用することを承諾します。
  - 申請する魚は「私が一人でハリに掛け、一人でファイトし、関連事項全てがIGFAルールに基づいています」と誓います。

日本記録・世界記録・参考記録に申請する場合は、こちらにも必ずご記入ください。



# 日本記録・世界記録・参考記録申請書

## 追加 記入分

★JGFA日本記録、IGFA世界記録などに申請される場合は、必ず下記項目すべてにご記入ください。

(該当しない欄についても空欄にせず、「なしもしくは「使用せず」とご記入ください。)

★世界記録申請魚の最低重量は、ラインクラス強度の1/2以上となっています。

日本記録申請の場合は、従来どおり1ポンド(453.59g)以上かつラインクラスの半分を目安とします。

釣り人の英字	釣り人氏名(英字):		
	住所(英字):		
フライティングタイム	時間	分	
	ロッドの全長 cm		
フライロッド	エクステンションバットの長さ (リールの足の中心からバットエンドまで) cm		
	ギャフあるいはネットのタイプ(いずれかに✓) <input type="checkbox"/> ギヤフ <input type="checkbox"/> ランディングネット		
ギヤフあるいは ランディングネット	ギャフあるいはネットの全長 m		
	ギャフロープの長さ m		
ポート (使用した場合)	ポート名:		
	メーカー名:		
ボート (使用した場合)	船の長さ(いずれかに○) m・フィート		
	フリガナ 船長氏名		
船長署名:	船長署名:		
	船長住所:〒		
乗組員 乗組員名:	乗組員名:		
	乗組員住所:〒		
乗組員 乗組員署名:	乗組員署名:		
	乗組員住所:〒		
捕獲の証明人 (船長以外の者、できれば2名以上)	捕獲の証明人(船長以外の者、できれば2名以上) フリガナ 氏名: 住所:〒		
	捕獲を証明する人数 人		

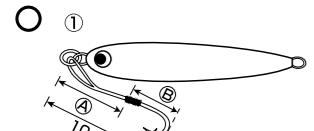
## 申請料

- |                                  |                                      |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="radio"/> JGFA会員     | サポート会員をのぞきすべて無料                      |
| <input type="radio"/> JGFAサポート会員 |                                      |
| ●日本記録                            | 6000円/件(オールタックルのみ)<br>(レギュラー会員登録費含む) |
| ●フィッシングコンテスト                     | 500円/件                               |
| ●非会員                             |                                      |
| ●オールタックル(日本・世界)記録                | 10000円/件<br>(入会金およびレギュラー会員登録費含む)     |
| ●フィッシングコンテスト・成人(女子含む)            | 1000円/件                              |
| ●フィッシングコンテスト・ジュニア(16歳以下)         | 無料                                   |

魚を釣った時点でJGFAサポート会員であった、ないし非会員であった方は、ラインクラス部門の日本記録および参考記録・スペシャルクラブ・ジュニア日本記録には申請できません。

## IGFAルールとアシストフック＆タイラバ

### アシストフック(○はルール適合、×は失格)



- Ⓐ(リード)の長さはⒷ(フック)全長の1.5倍以内。
- ⒶとⒷの合計長は、4インチ(10.1cm)以内とする。



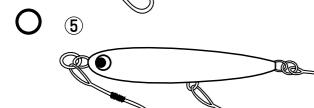
- アシストフックを2本つける場合、リードの長さは同じでも可。



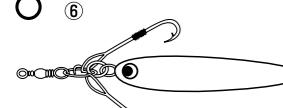
- アシストフックは、1つのルアーに3本まで使える。
- フロントアイに2本、テールに1本でも可。



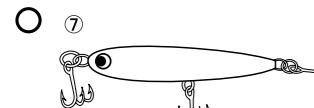
※通称タイラバ&インチクおよび、市販されている海のトローリングルアーの多くは、化学製品等のスカートが付いています。これらスカート付きのルアーの場合も、必要以上と認識される多くの針を配置してはいけません。魚体に絡みついたり、スレ掛けに頼る不正な針掛けをできる限り排除するためです。もちろん、魚のファイトを妨げ吸収するパーツ(クッションゴム等)をどこかに組み込んではいけません。



- 1つのルアーに3本までのシングル、ダブル、トレブルのいずれかのフックがつけられる。



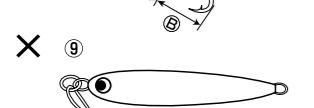
- スナップスイベルに、アシストフックを通しての使用は可。



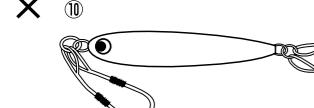
- トレブルフックを先頭のアイにつけての使用も可。



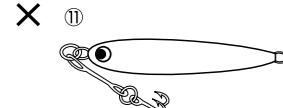
- Ⓐの長さがⒷの長さの1.5倍以上あると失格。



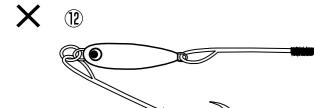
- タンデム(シングルフックを直列に2本つけたもの)は失格。



- 1つのルアーにはアシストフックは3本まで。4本以上つけると失格。



- アシストフックには、シングルフック以外は使えない。



- リードの長さとフックの長さの合計長が規定どおりであっても、ルアーのボディーから大きくフックが離れていると失格。

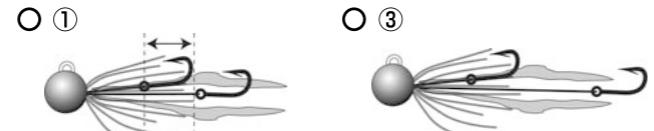
### タイラバ&インチク

- ①シングルフック2本までの使用が認められます。
- ②ルアーは一つの仕掛けに1個のみ使用できます。複数の取り付けは不可。
- ③フックに取り付けるリードの素材は問いません。
- ④フックの先端にもう一方のフックのアイを通して、2本を連結することは認められます。
- ⑤2本のフックはどちらか大きい方の全長以上、離して取りつけなければいけません。但し、フックのアイとアイの間隔は12インチ(30.48cm)以内とします。
- ⑥フックの全部がルアーのネクタイやスカートから出ていてはいけません。
- ⑦ケンケンバリ(ダブルフック)や3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用はできません。

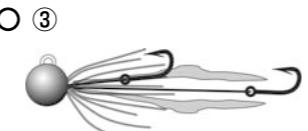
※通称タイラバ&インチクおよび、市販されている海のトローリングルアーの多くは、化学製品等のスカートが付いています。これらスカート付きのルアーの場合も、必要以上と認識される多くの針を配置してはいけません。魚体に絡みついたり、スレ掛けに頼る不正な針掛けをできる限り排除するためです。もちろん、魚のファイトを妨げ吸収するパーツ(クッションゴム等)をどこかに組み込んではいけません。

### タイラバ

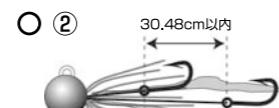
#### 【適合】



- ①  
2本のフックは、どちらか大きい方の長さ以上離してとりつけなければいけない。



- ③  
フックの全部がネクタイ、スカート等から出でていけない。フックの一部がこれらの内側に入っているればよい。

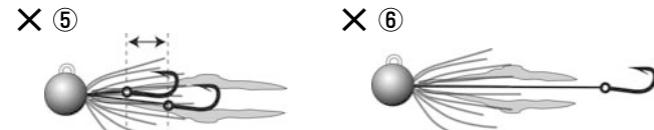


- ②  
フックのアイとアイの間隔は、最大でも12インチ(30.48cm)以内とする。

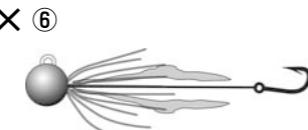


- ④  
フックの全部がネクタイ、スカート等から出でていけない。フックの一部がこれらの内側に入っているればよい。

#### 【失格】



- ✗ ⑤  
いかなる場合もフック同士が重なってはいけない。



- ✗ ⑥  
フックがネクタイやスカートより完全に出でていけない。



- ✗ ⑦  
ケンケンバリ(ダブルフック)、3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用は不可。

# GET A RECORD!

## 日本記録・世界記録の準備から申請、審査結果の受理まで

記録とは、定められたルールの下で樹立されるものです。

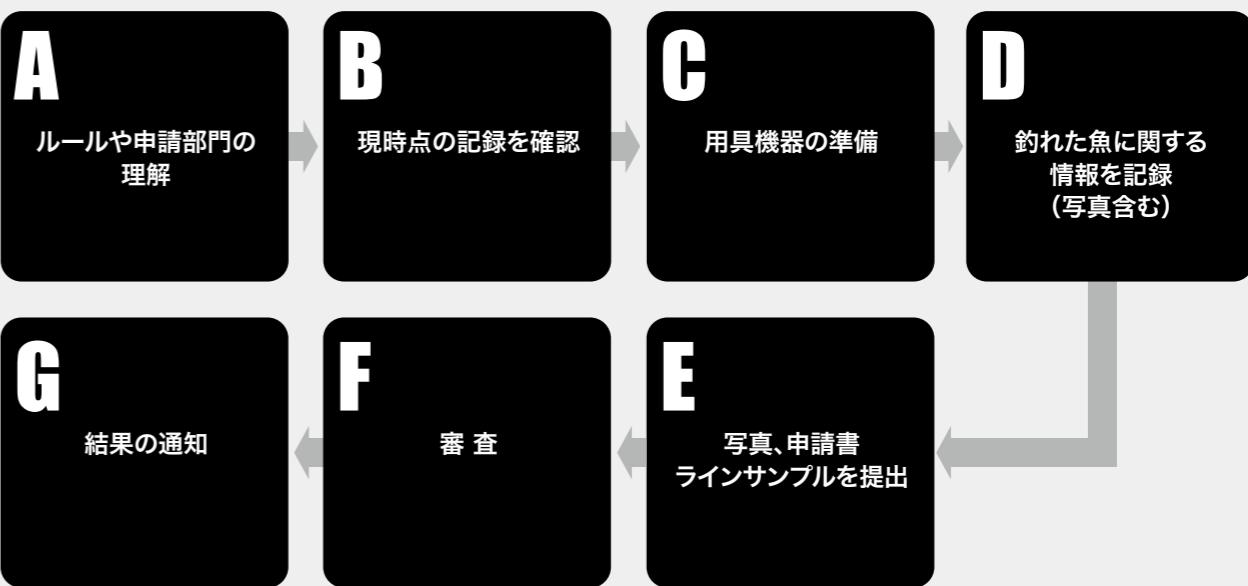
そして、釣りの本質的な性質として、アングラー側の準備とともに、運によって左右される「出会い」の要素も結果に大きく関与してきます。

運を努力で買うことはできませんが、少なくともできることはきちんとやっておきたいもの。明日あなたが出会うかもしれない大型魚を、記録として後年に残しておくためには、まずはそのルールと手順を理解しておきましょう。

記録樹立の流れとしては7段階となり、以下のとおりです。



### 日本記録・世界記録の準備→申請→審査結果→受理(手順)



## A. 最新のIGFAルールを確認しましょう

IGFAルールとは、米国フロリダ州に本部を構えるIGFA(インターナショナル・ゲーム・フィッシュ・アソシエーション)が世界記録を認定するために定めた世界共通、唯一の釣りのルールです。このルールに従って釣られたもののみが、日本(世界)記録として認定の対象となります。IGFAルール(日本語版)のありかは、以下のとおりです。

### JGFAホームページ

JGFAホームページから入手できます。トップページにある「IGFAルール」のセクションからダウンロードしてください。

<http://www.jgfa.or.jp/igfa/>

### JGFAイヤーブック

毎年発行されるJGFAの刊行物で、これにIGFAルールの日本語版が全文掲載されています。年単位ですが改定された箇所は更新されています。サポート会員を除く全会員に無償で配布されるほか、サポート会員や会員外の方には1冊1,000円(送料・税込み)で販売されています。

#### 【釣り具や釣り方に関する規定をしっかりと理解!】

IGFAルールは「アマチュアの釣りのルール」であり、魚と人が1対1でフェアにファイトするよう定められたルールです。したがって、電気の力に頼ったり、釣り人が一方的に有利になる釣具は使用が許可されず、ファイトの途中でアングラーが交代することも禁じられています。また、リールのないロッドや手釣りは対象外となります。

#### 【主な例】

◎駆動装置を内蔵する電動リール、クッションゴムは禁止!

◎エサ釣りのフックはシングルフック2本まで!

◎アタリがあったら自分で竿を取り、リーダーがつかめるところにくるまで、他人の力を借りずにファイトすること!

IGFAルールにかなった釣具の例はここで紹介されています。

[www.jgfa.or.jp/igfa/](http://www.jgfa.or.jp/igfa/)